



Drink Smile Report 2025

# ◆ 目次 ◆



## 01. 調査概要

調査概要 ..... P02

## 02. ドリンク スマイルについて

直近1年間のお酒に関するドリンク スマイル点数を100点で表すとどうか ..... P04~05

適正飲酒の意識や体験別に見たドリンク スマイル点数 ..... P06

ドリンク スマイル経験／重視度 ..... P07

## 03. 適正飲酒について

適正飲酒認知／意識 ..... P09

適正飲酒を意識した行動 ..... P10

適正飲酒セミナー／パッチテスト／遺伝子検査 ..... P11

適正飲酒知識 ..... P12

## 04. 飲酒の実態

お酒を飲み始めたきっかけ ..... P14

定期的な飲酒のきっかけ ..... P15

お酒飲用頻度 家／外\_飲酒経験者ベース ..... P16

お酒飲用頻度 家／外\_全ベース ..... P17

ノンアルコール飲料 飲用頻度 家／外 ..... P18

1日当たりのお酒飲用量 家／外 ..... P19

飲んでいる酒類 家／外 ..... P20

飲みたい酒類 家／外 ..... P21

## 05. お酒に対する意識

お酒に対する意識\_全体 ..... P23

お酒に対する意識\_詳細 ..... P24

お酒のよかった経験FA ..... P25

お酒の残念だった経験FA ..... P26

お酒のよかった経験 お酒の残念だった経験SA ..... P27

お酒の魅力 ..... P28

お酒が嫌い・飲まない理由 ..... P29

ノンアルコール飲料に対するイメージ ..... P30

## 06. 飲み会の実態

飲み会実態頻度／飲用量 ..... P32

飲み会への好意度 ..... P33

飲み会に対するイメージ ..... P34

飲み会に対する考え方 ..... P35

飲み会の魅力 ..... P36

飲み会に対する不安 ..... P37

泥酔者に困った経験頻度 ..... P38

泥酔者に困った経験 ..... P39

# ◆ 調査概要 ◆



## 調査目的

世の中のお酒に対する考え方や、お酒の知識の浸透度合いの現状を時系列で調査し、  
調査結果をPR活動をはじめ、対外発信に活用する。継続的に実施することで活動の浸透も把握する。

## 調査手法

全国男女へのインターネット調査

## 調査対象

一般セル 20歳～69歳 ※お酒を飲む人だけでなく、お酒を飲まない人も含んだ全員を対象  
新社会人 20～29歳 / 有職者 / 社会人1年目  
新20歳 20～21歳

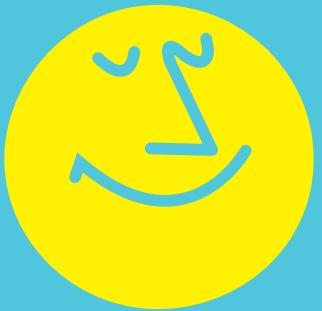
	一般セル										合計
	男性20代	男性30代	男性40代	男性50代	男性60代	女性20代	女性30代	女性40代	女性50代	女性60代	
WB前	206	206	206	206	206	206	206	206	206	206	2,060
WB後	166	191	247	222	205	160	186	243	223	215	2,060

ブースト		
	新社会人	新20歳
WB前	155	155
WB後	155	155

※一般セル/新社会人/新20歳はSCR調査の出現構成比に合わせてウェイトバックを実施

## 調査期間

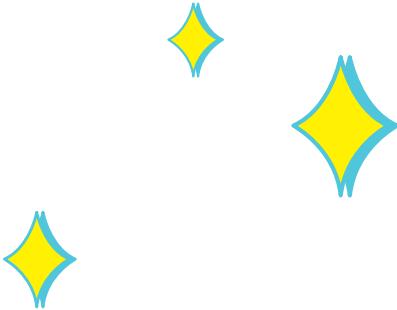
2025年6月19日(木)～2025年6月20日(金)



# Theme

# ドリンク スマイルについて





## Drink Smile 設問

直近1年間のお酒・ノンアルコール飲料に関する【Drink Smile点数】は、  
100点満点中何点ですか。

ご自身の、ご自宅やお店等でお酒を飲んだ経験を思い出して、あなたがご自宅やお店等でお酒を飲んだときと、飲んだ後にいつも笑顔でいられたのなら100点、まったく笑顔でいられなかったのなら0点として、あなたのお気持ちに近い数字を記入してください。

お酒をまったく飲まない方は、ノンアルコール飲料を飲んだ経験や、お酒のある場に参加した経験、もしくはお酒を飲んだ人との関係性についてあなたのお気持ちに近い数字を記入してください。



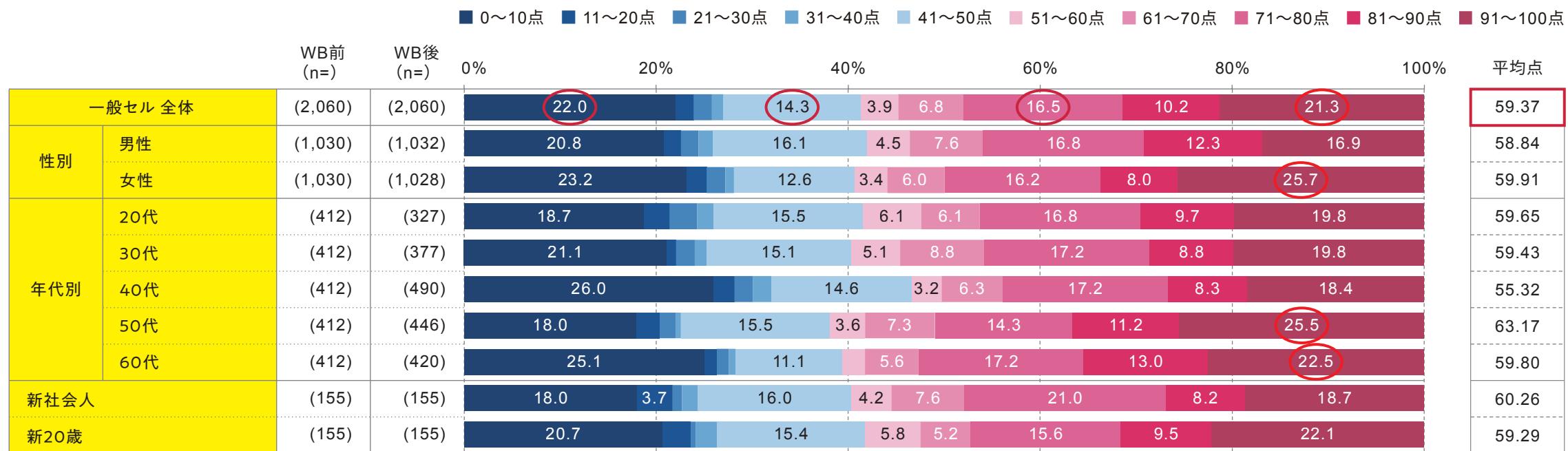
# ◆直近1年間のお酒に関するドリンク スマイル点数を 100点で表すとどうか◆



- お酒に関するドリンク スマイル点数を聴取したところ全体では平均で59点。  
回答データをみると0点／50点／80点／100点のボリュームが大きく、人によってつける点数にはばらつきがある。
- 性別では女性、年代別では50代以上で91～100点をつける割合が他層と比べて高い。

Q.直近1年間のお酒・ノンアルコール飲料に関する【ドリンクスマイル点数】は、100点満点中何点ですか。ご自身の、ご自宅やお店等でお酒を飲んだ経験を思い出して、あなたがご自宅やお店等でお酒を飲んだときと、飲んだ後にいつも笑顔でいられたのなら100点、まったく笑顔でいられなかったのなら0点として、あなたのお気持ちに近い数字を記入してください。お酒をまったく飲まない方は、ノンアルコール飲料を飲んだ経験や、お酒のある場に参加した経験、もしくはお酒を飲んだ人との関係性についてあなたの気持ちに近い数字を記入してください。(N)

※全ベース



※3.0%未満のスコアは非表示

# ◆ 適正飲酒の意識や体験別に見たドリンク スマイル点数 ◆

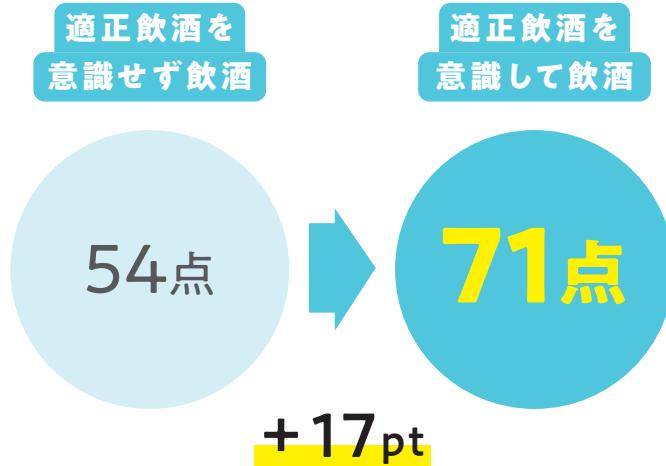


さらに行動・意識ベースの分類では、適正飲酒を意識して飲酒しているグループは、意識せず飲酒しているグループよりも17ptもドリンク スマイル点数が高い。

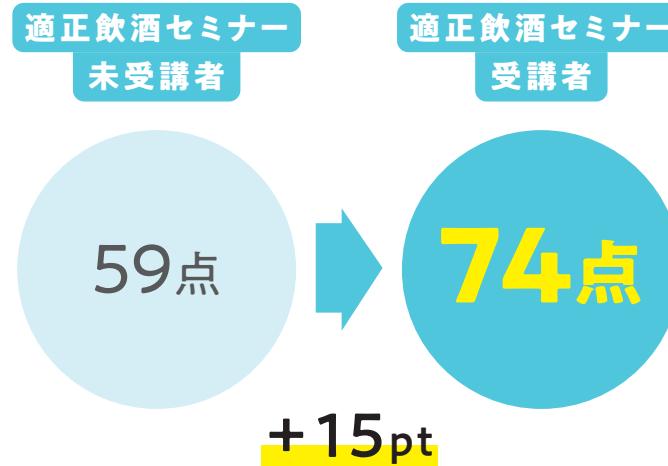
さらに適正飲酒セミナー受講有無、パッチテスト実施有無、によってもドリンク スマイル点数に差が生まれている。※適正飲酒セミナー：企業や学校などが実施するお酒との付き合い方やお酒の知識を伝えるセミナー

Q.直近1年間のお酒・ノンアルコール飲料に関する【ドリンク スマイル点数】は、100点満点中何点ですか。ご自身の、ご自宅やお店等でお酒を飲んだ経験を思い出して、あなたがご自宅やお店等でお酒を飲んだときと、飲んだ後にいつも笑顔でいられたのなら100点、まったく笑顔でいられなかったのなら0点として、あなたのお気持ちに近い数字を記入してください。お酒をまったく飲まない方は、ノンアルコール飲料を飲んだ経験や、お酒のある場に参加した経験、もしくはお酒を飲んだ人との関係性についてあなたのお気持ちに近い数字を記入してください。(N)

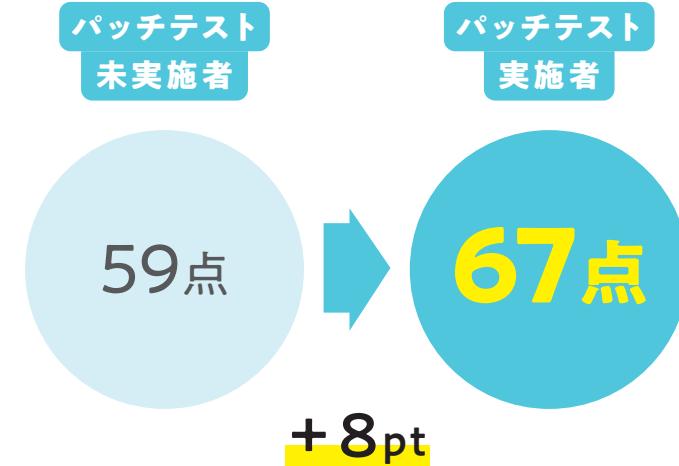
※飲酒経験者ベース



※全ベース



※全ベース



# ◆ ドリンク スマイル経験／重視度 ◆

※ドリンク スマイル経験とは、お酒を飲んだりお酒を飲む場において、笑顔でいられる意識や経験のこと。



- ☑ 全体では「人との会話がはずんだり、人の距離を縮めることができた」「場を楽しめた」「場が華やかになった」「食事が美味しくなった」の4つのお酒・ノンアルコール飲料の価値について、半数以上が経験しており、6割前後がドリンクスマイル点数において重要と感じている。

Q.直近1年間で以下の内容を経験しましたか。それあてはまる程度をお知らせください。(SA)

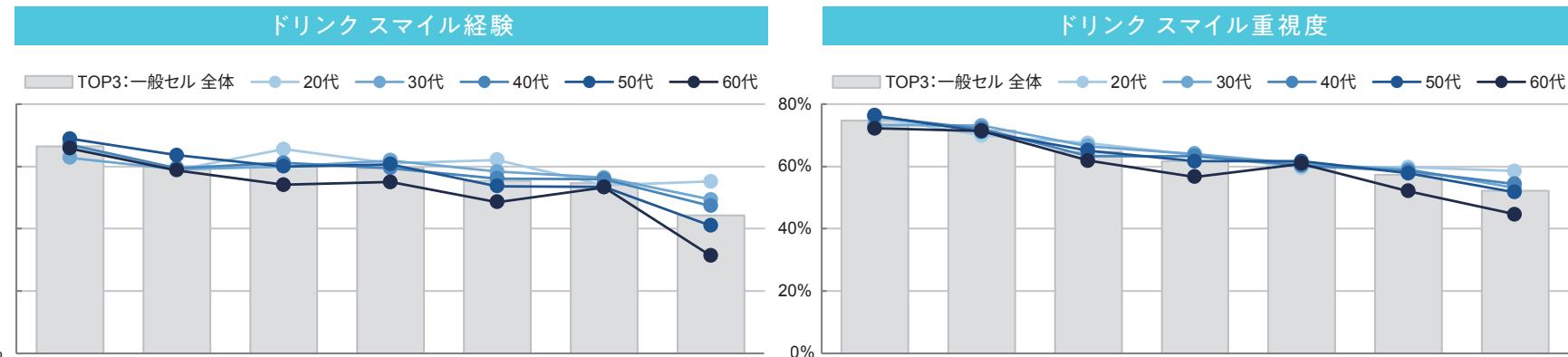
Q.あなたのお酒・ノンアルコール飲料に関する「ドリンクスマイル点数」において、以下のそれぞれの項目はどの程度重要ですか。以下のそれぞれの経験について、あなたの気持ちに最も近いものをそれひとつお選びください。(SA)

※全ベース

\*「お酒を自分が飲むことで

残念な思いをしなかった」のみ

飲酒経験者ベースでの聴取



WB前n=30以上の場合

[比率の差]			
全体 +10° イント	全体 +5° イント	全体 -5° イント	全体 -10° イント
WB前 (n=)	WB後 (n=)	* WB前 (n=)	* WB後 (n=)

性別	年代別	WB前 (n=)		WB後 (n=)		WB前 (n=)		WB後 (n=)		WB前 (n=)		WB後 (n=)		WB前 (n=)		WB後 (n=)		WB前 (n=)		WB後 (n=)		WB前 (n=)		WB後 (n=)		
		男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
	TOP1:一般セル 全体	(2,060)	(2,060)	(1,843)	(1,846)	14.0	12.2	11.3	9.9	8.0	9.6	7.1														
	TOP2:一般セル 全体	(2,060)	(2,060)	(1,843)	(1,846)	38.9	34.2	31.7	32.2	27.6	30.4	22.1														
	TOP3:一般セル 全体	(2,060)	(2,060)	(1,843)	(1,846)	66.4	60.0	59.9	59.5	55.4	54.6	44.3														
性別	男性	(1,030)	(1,032)	(934)	(939)	64.9	58.6	60.5	60.8	55.3	57.3	45.5														
	女性	(1,030)	(1,028)	(909)	(907)	67.8	61.5	59.3	58.1	55.5	51.8	43.0														
	20代	(412)	(327)	(359)	(285)	66.9	59.0	65.5	60.9	62.1	54.0	55.1														
	30代	(412)	(377)	(371)	(339)	62.8	59.0	59.9	61.9	58.3	56.3	49.3														
	40代	(412)	(490)	(375)	(446)	66.9	59.4	61.2	59.5	56.1	55.8	47.3														
	50代	(412)	(446)	(376)	(407)	68.9	63.6	59.9	60.7	53.6	53.4	41.0														
	60代	(412)	(420)	(362)	(369)	65.8	58.7	54.1	55.0	48.5	53.3	31.3														
新社会人		(155)	(155)	(130)	(130)	69.2	62.8	66.2	58.7	56.5	55.3	57.6														
新20歳		(155)	(155)	(126)	(123)	64.5	59.0	63.1	65.5	60.8	54.4	56.2														

※TOP1「とてもあてはまる」、TOP2「とてもあてはまる」「あてはまる」、TOP3「とてもあてはまる」「あてはまる」「ややあてはまる」のスコア

※TOP3:一般セル 全体のスコアで降順ソート

※TOP1「とても重要である」、TOP2「とても重要である」「重要である」、

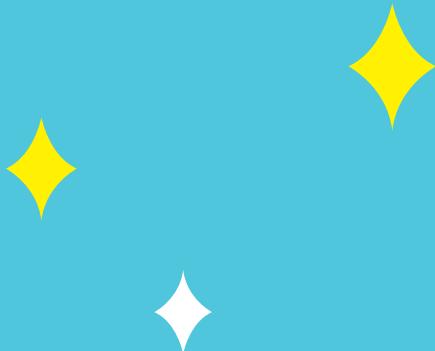
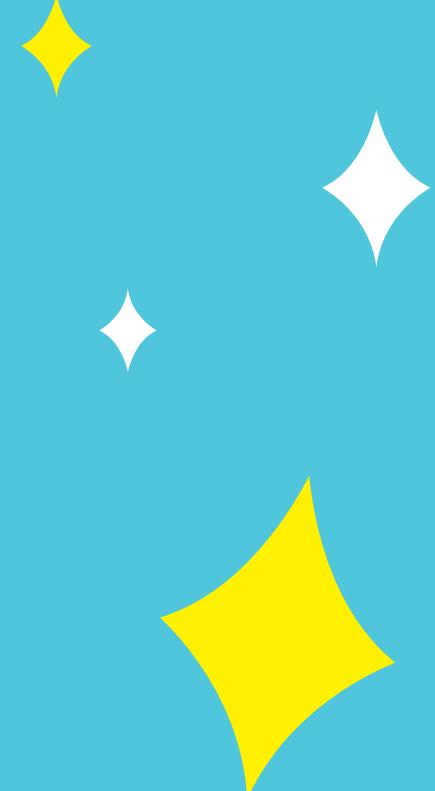
TOP3「とても重要である」+~+「やや重要である」のスコア

※TOP3:一般セル 全体のスコアで降順ソート

※TOP3「とても重要である」+~+「やや重要である」のスコア

Theme

# 適正飲酒について



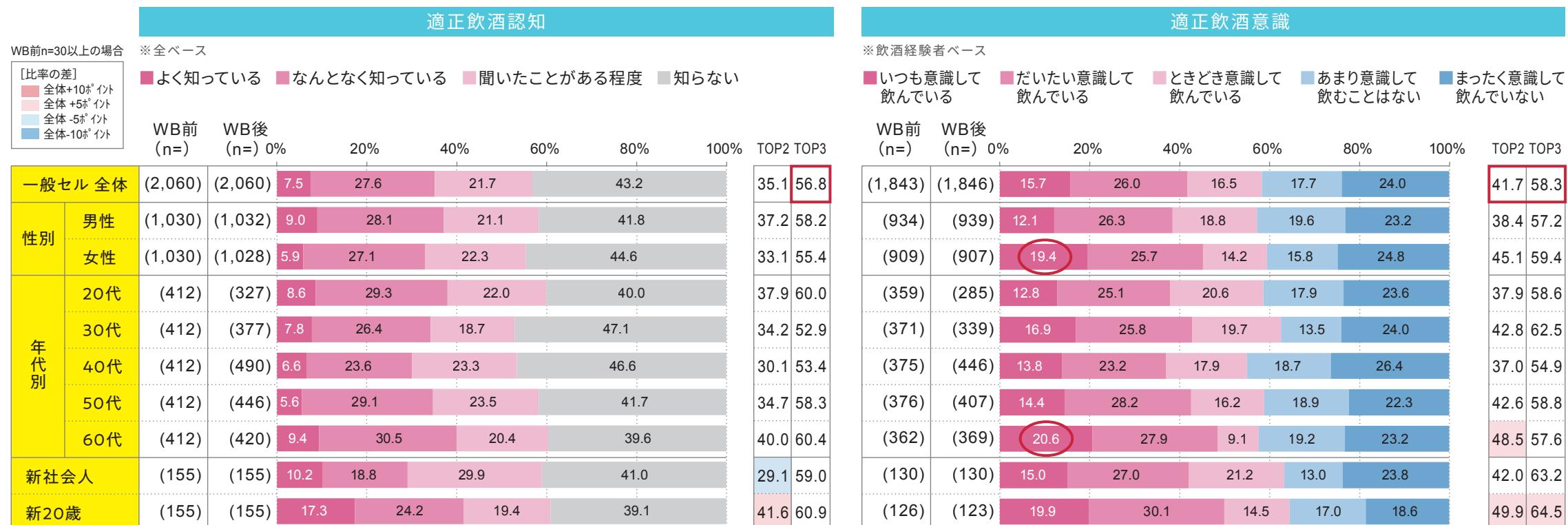
# ◆ 適正飲酒認知／意識 ◆



- 適正飲酒認知TOP3は全体で57%。
- 適正飲酒意識はTOP2（「いつも」+「だいたい」）が42%。TOP3の「ときどき」まで含めると58%が意識している。
- 性別では女性、年代別では60代の「いつも意識」している割合が他層と比べて高い。

Q.あなたは 適正飲酒 という言葉を知っていますか。(SA)

Q.あなたは普段お酒を飲むときに 適正飲酒 をどの程度意識していますか。※適正飲酒という言葉を知らない場合でも、言葉のイメージからお気持ちに近いものをお知らせください。(SA)



※TOP2:「よく知っている」+「なんとなく知っている」

※TOP3:「よく知っている」+「なんとなく知っている」+「聞いたことがある程度」

※TOP2:「いつも意識して飲んでいる」+「だいたい意識して飲んでいる」

※TOP3:「いつも意識して飲んでいる」+~+「ときどき意識して飲んでいる」

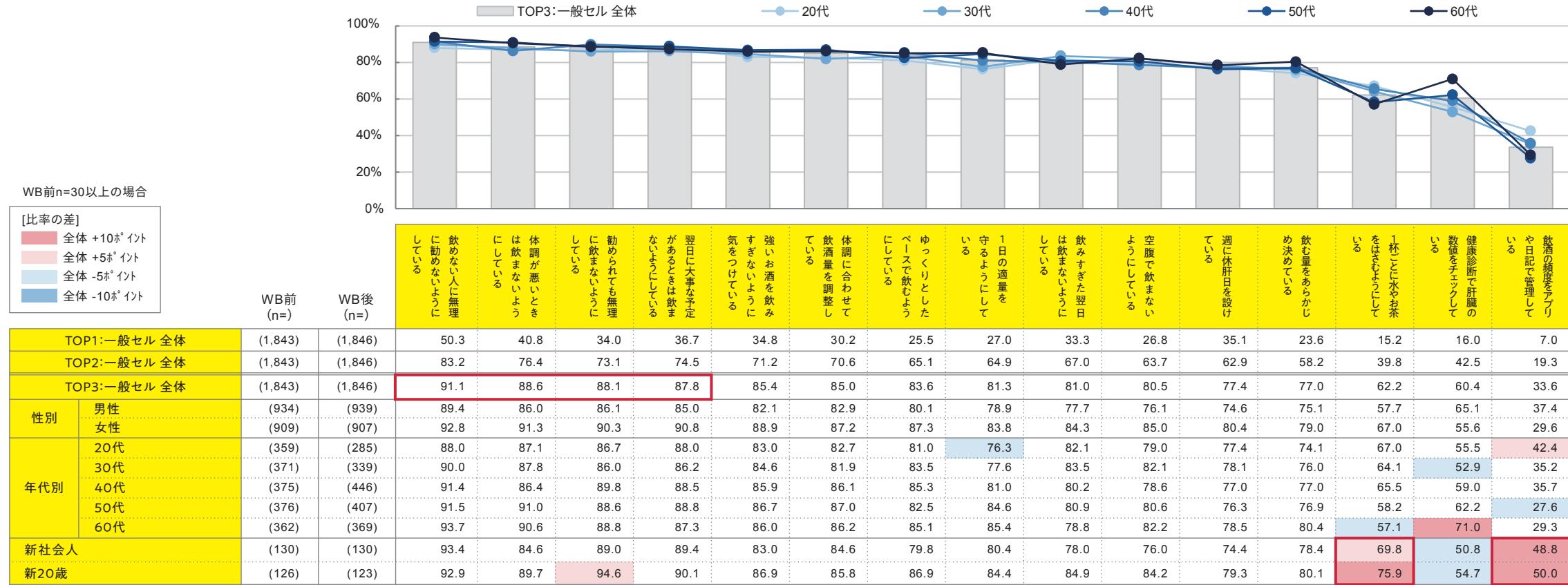
# ◆ 適正飲酒を意識した行動 ◆



- 全体では「飲めない人に無理に勧めない」や「勧められても無理に飲まない」といった飲み会での振る舞いや、「体調が悪いときは飲まない」「翌日に大事な予定があるときは飲まない」といった飲まない判断をする行動が上位にあがる。
  - 新社会人や新20歳では「1杯ごとに水やお茶をはさむ」「飲酒の頻度をアプリや日記で管理」が全体と比べて高め。

Q. あなたは適正飲酒を意識してどのようなことをしていますか。以下のそれぞれの項目について、あなたのお気持ちに最も近いものをひとつつお知らせください。(SA)

※飲酒経験者ベース



※TOP1「意識していつも行動している」、TOP2「意識していつも行動している」+「意識して行動している」、TOP3「意識していつも行動している」+「意識して行動している」+「意識はしているが行動できていない」のスコア

※「TOP3:一般セル 全体」のスコアで降順ソート

# ◆ 適正飲酒セミナー／パッチテスト／遺伝子検査 ◆

※適正飲酒セミナー：企業や学校などが実施するお酒との付き合い方やお酒の知識を伝えるセミナー

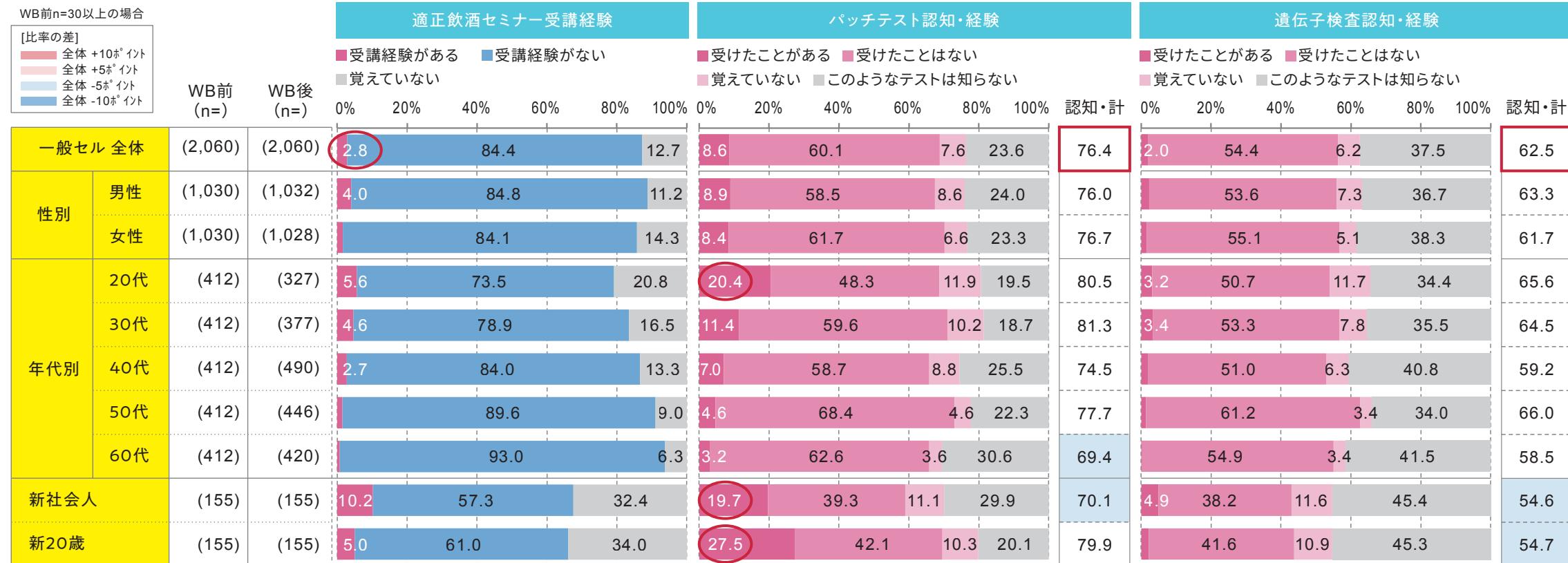


- 適正飲酒セミナーの受講経験は全体で3%。パッチテスト経験は9%、遺伝子検査経験は2%といずれも経験率は1割に満たず、自分のアルコール体質を知らない人が多いと考えられる。
- パッチテストについては20代／新社会人／新20歳は全体と比べて経験率が高いものの、非認知者も含めて7割以上は未経験となっている。

Q.あなたは会社や学校などで「適正飲酒セミナー」を受講したことがありますか。(SA)

Q.あなたは以下のテストや検査を受けたことがありますか。(SA)

※全ベース



※2.0%未満のスコアは非表示

※認知・計：「受けたことがある」+～+「覚えていない」

※認知・計：「受けたことがある」+～+「覚えていない」

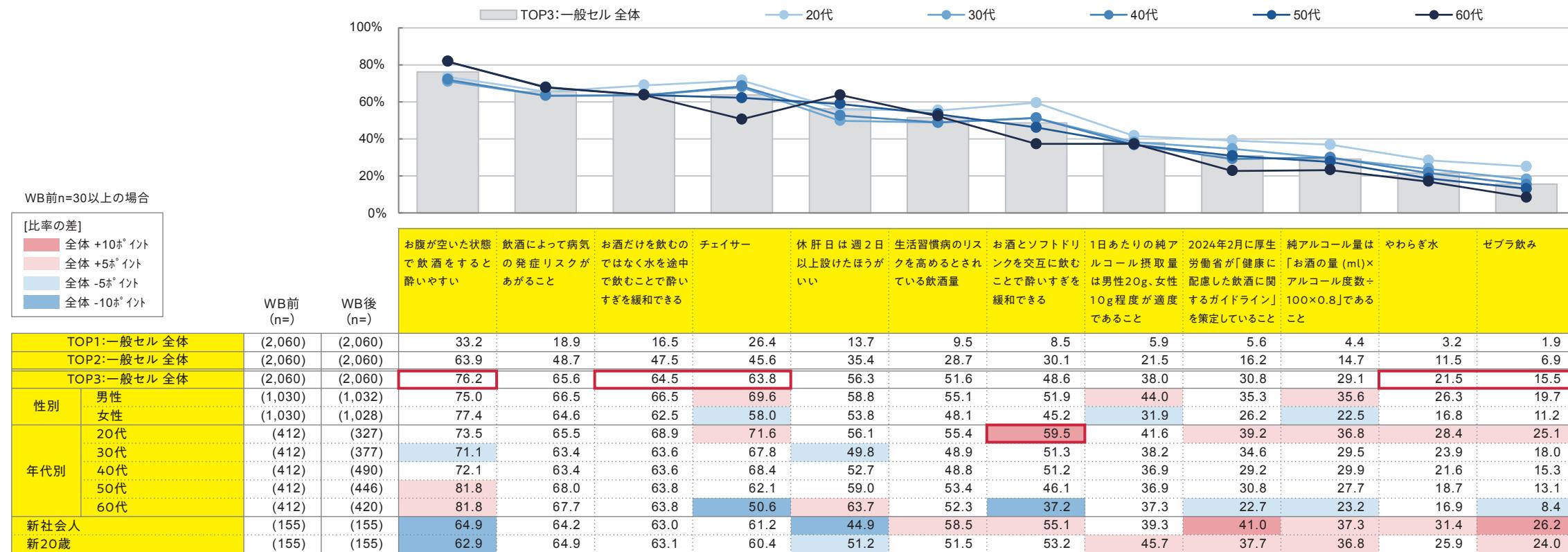
# ◆ 適正飲酒知識 ◆



- 全体では「お腹が空いた状態で飲酒をすると酔いやすい」は76%と広く知られている。「お酒だけを飲むのではなく水を途中で飲むことで酔いすぎを緩和できる」や「チェイサー」については6割以上が認知しているが、「やわらぎ水」「ゼブラ飲み」は認知率が低く浸透の余地がある。
- 20代では「お酒とソフトドリンクを交互に飲むことで酔いすぎを緩和できる」というゼブラ飲みの効果自体は認知率が高い。

Q.適正飲酒に関する以下の言葉や内容について、どの程度知っていますか。(SA)

※全ベース



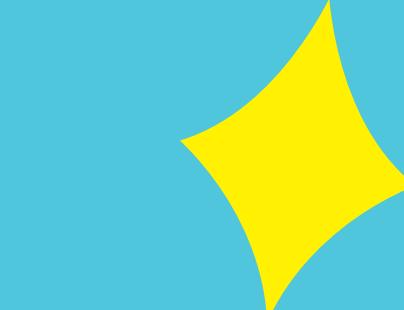
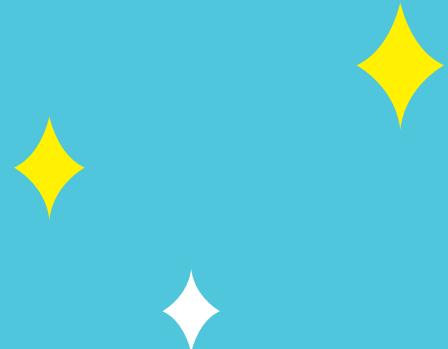
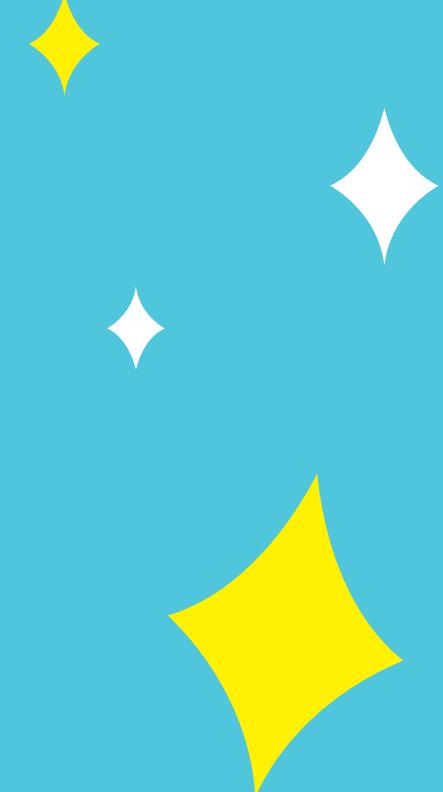
※TOP1「よく知っている」、TOP2「よく知っている」+「なんとなく知っている」、TOP3「よく知っている」+「なんとなく知っている」+「聞いたことがある程度」のスコア

※「TOP3:一般セル 全体」のスコアで降順ソート



Theme

# 飲酒の実態



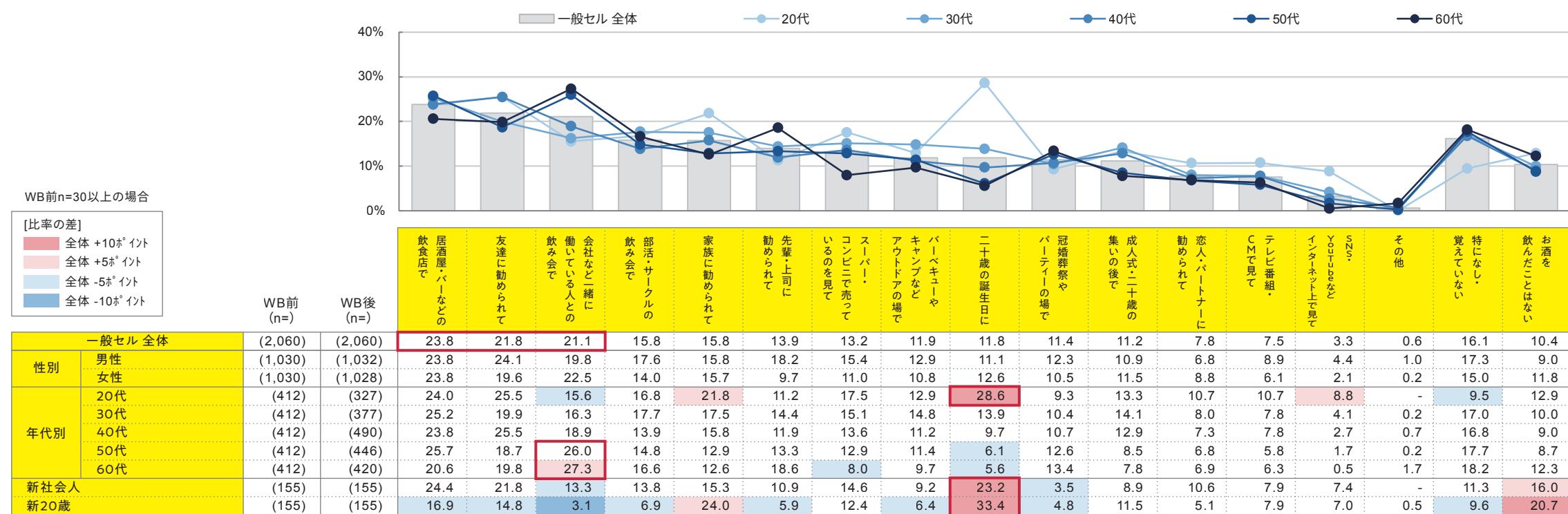
# ♦ お酒を飲み始めたきっかけ ♦



- 全体では「居酒屋・バーなどの飲食店で」「友達に勧められて」「会社など一緒に働いている人との飲み会で」といったきっかけが上位にあがる。特に50代以上は「飲み会」が40代以下と比べて高い。
  - 20代・新社会人・新20歳は「二十歳の誕生日」が全体と比べて高い。

Q. あなたは、お酒を飲んだことがありますか。飲んだことがある方は、初めて飲んだきっかけをお知らせください。(SA)

※全ベース



※「一般セル 全体」のスコアで降順ソート

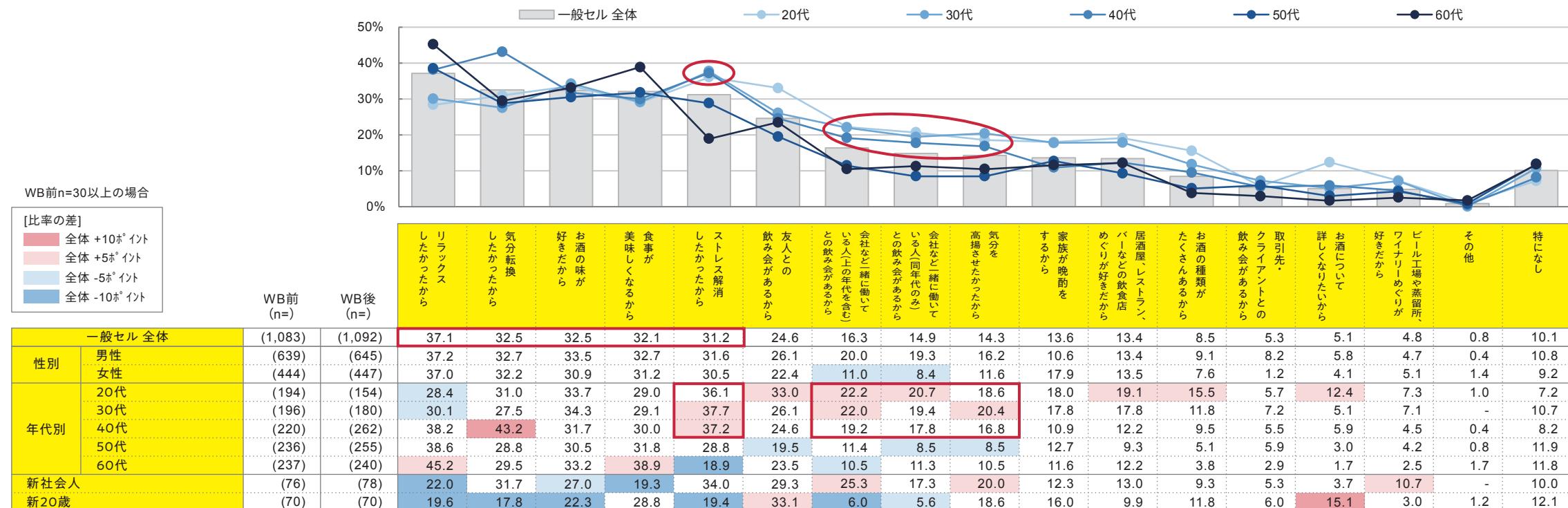
# ◆ 定期的な飲酒のきっかけ ◆



- 全体では「リラックス」「気分転換」「ストレス解消」といった情緒価値や、「お酒の味が好き」「食事が美味しいくなる」といった味の価値を感じることで定期的な飲酒につながっている。
- 40代以下は「ストレス解消」「気分高揚」「会社の飲み会」などが、50代以上と比べて高い。

Q.自宅と自宅外の飲食店いずれかで月に1日以上お酒を飲む方にうかがいます。お酒を定期的に飲むようになった、きっかけをお知らせください。あてはまるものすべてお選びください。(MA)

※月1日以上飲酒ありベース



※「一般セル 全体」のスコアで降順ソート

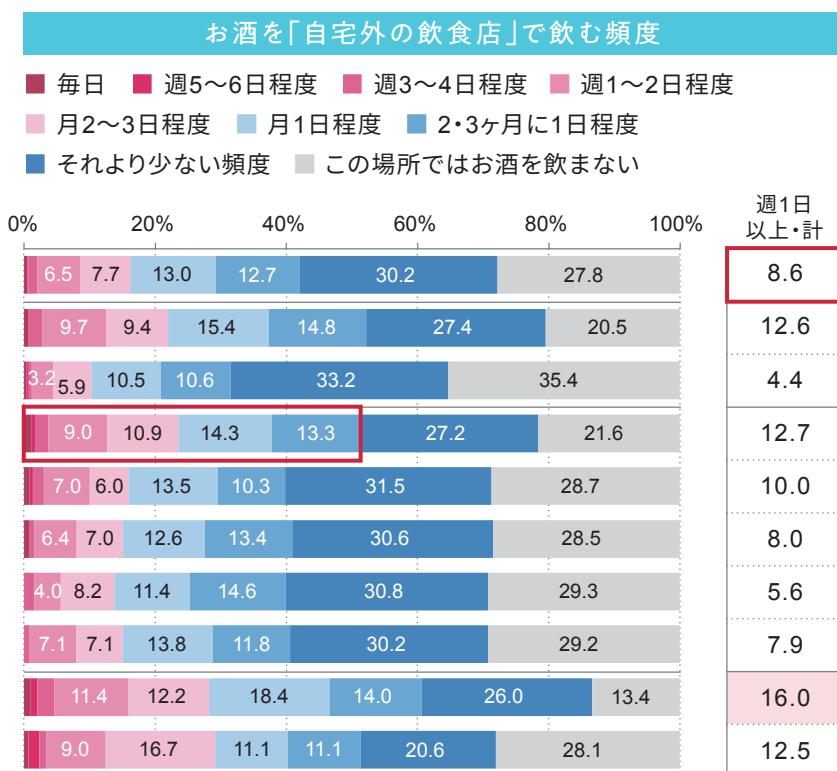
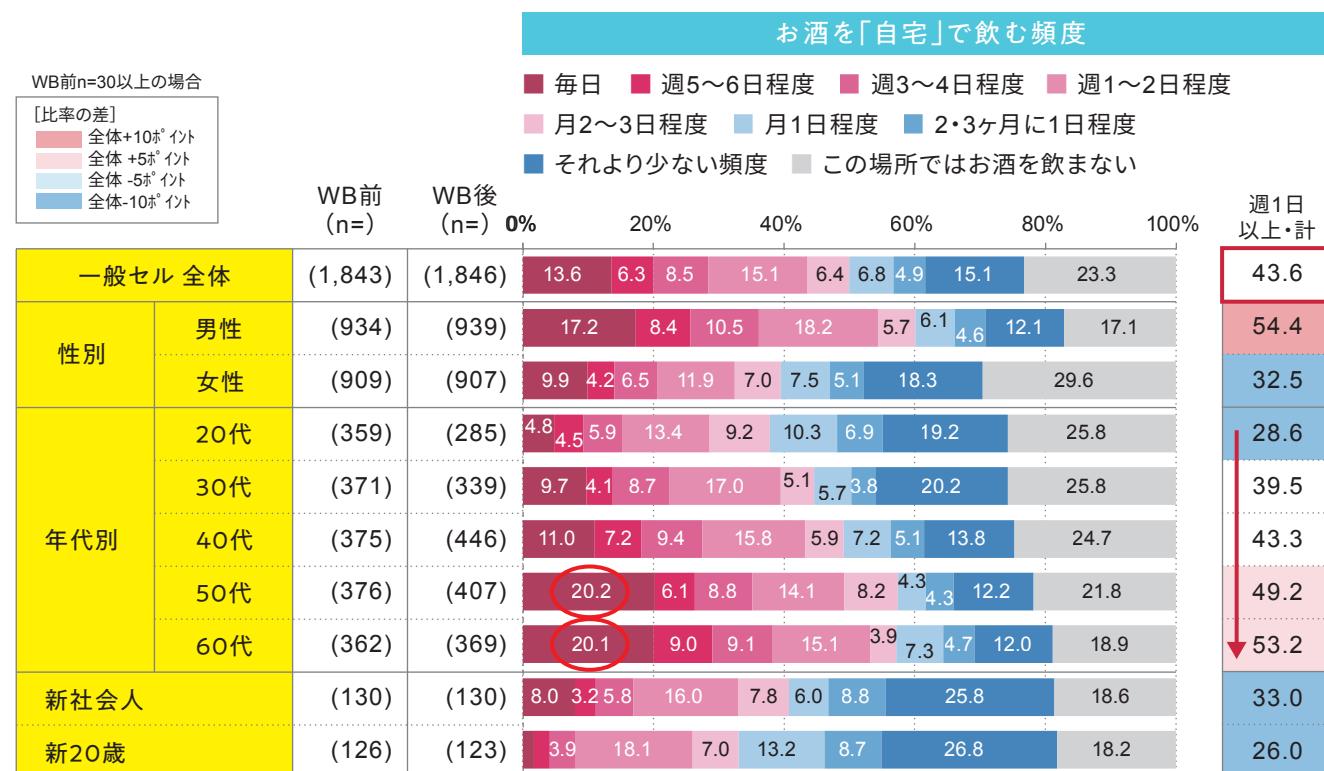
## ♦ お酒飲用頻度 家／外\_飲酒経験者ベース ♦



- 自宅では44%が週1日以上飲酒。年代別では年代が上がるほど頻度が高く、50代以上は2割が毎日飲酒している。
  - 自宅外の飲食店では9%が週1日以上飲酒。20代の頻度が他年代と比べてやや高い。

Q. あなたは、どれくらいの頻度でお酒・ノンアルコール飲料を飲みますか。自宅と自宅外の飲食店で飲む場合のそれについてあてはまるものをひとつお知らせください。(SA)

※飲酒経験者ベース



※3.0%未満のスコアは非表示

※調1日以上・計(TOP4)：「毎日」は～+「調1～2日程度」

※調1日以上・計(TOP4)：「毎日」 $\pm$ ～ $\pm$ 「調1～2日程度」

# ◆ お酒飲用頻度 家／外\_全ベース ◆

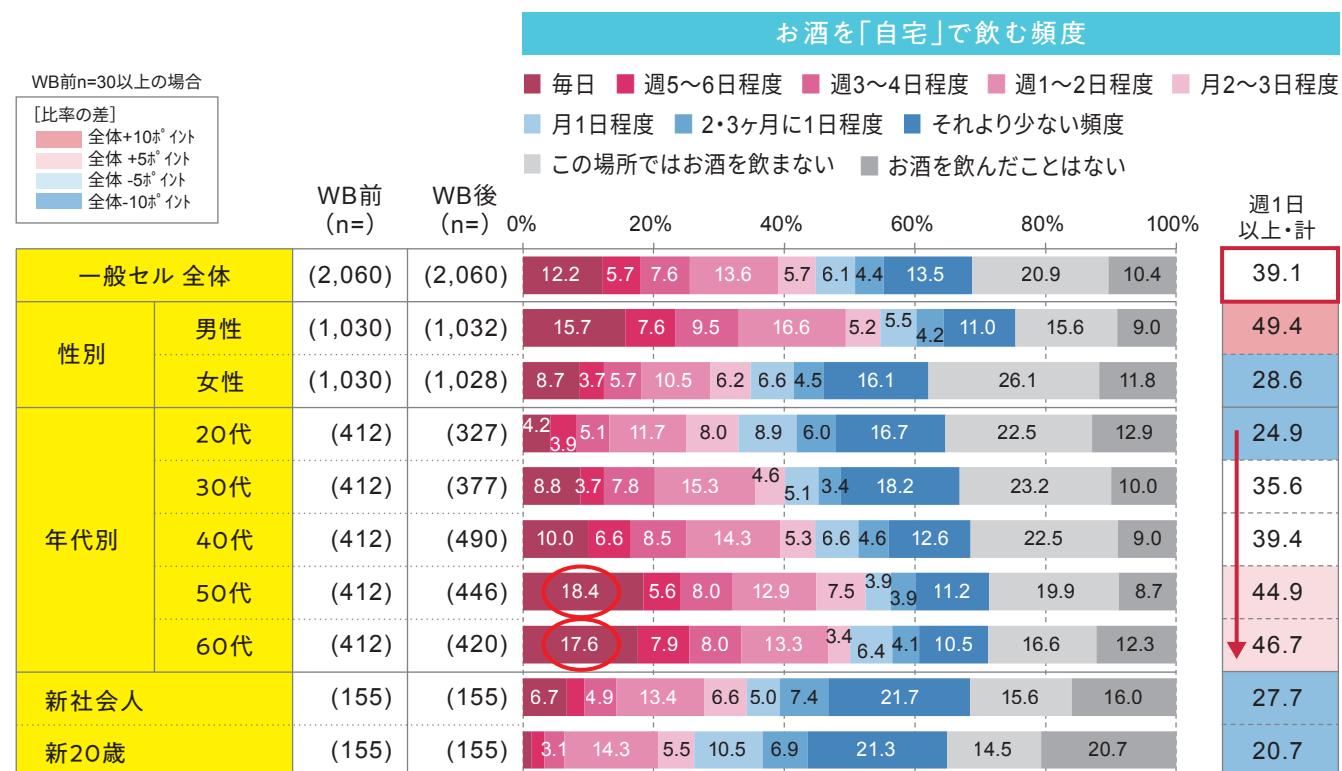


全ベースでの自宅飲酒頻度は39%が週1日以上飲酒。年代別では年代が上がるほど頻度が高く、50代以上は2割弱が毎日飲酒している。

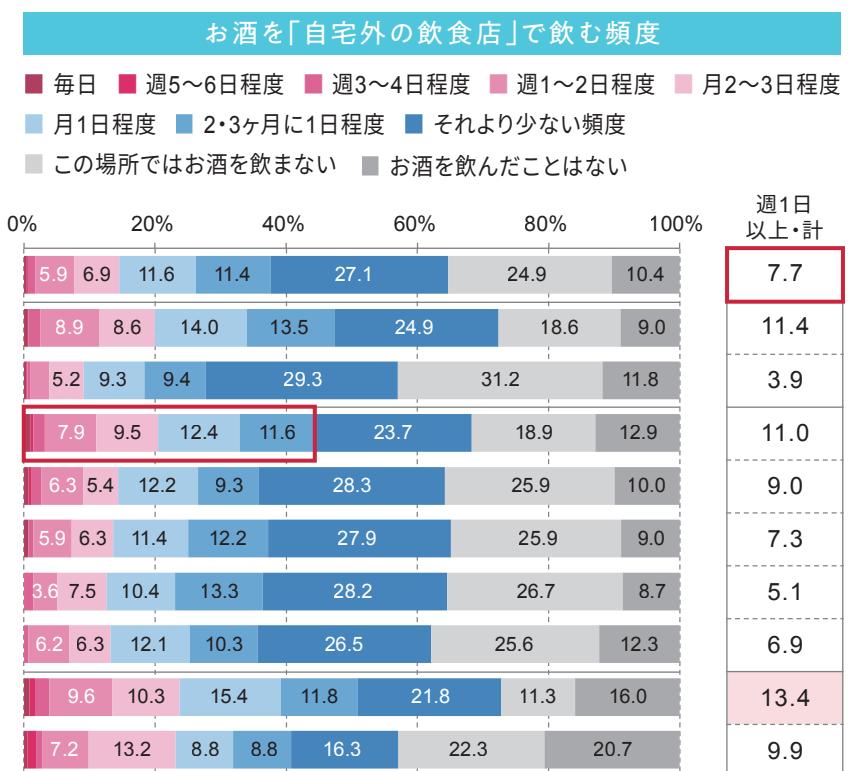
自宅外の飲食店では8%が週1日以上飲酒。20代の頻度が他年代と比べてやや高い。

Q.あなたは、どれぐらいの頻度でお酒・ノンアルコール飲料を飲みますか。自宅と自宅外の飲食店で飲む場合のそれぞれについてあてはまるものをひとつずつお知らせください。(SA)

※全ベース



※週1日以上・計(TOP4)：「毎日」+～+「週1~2日程度」



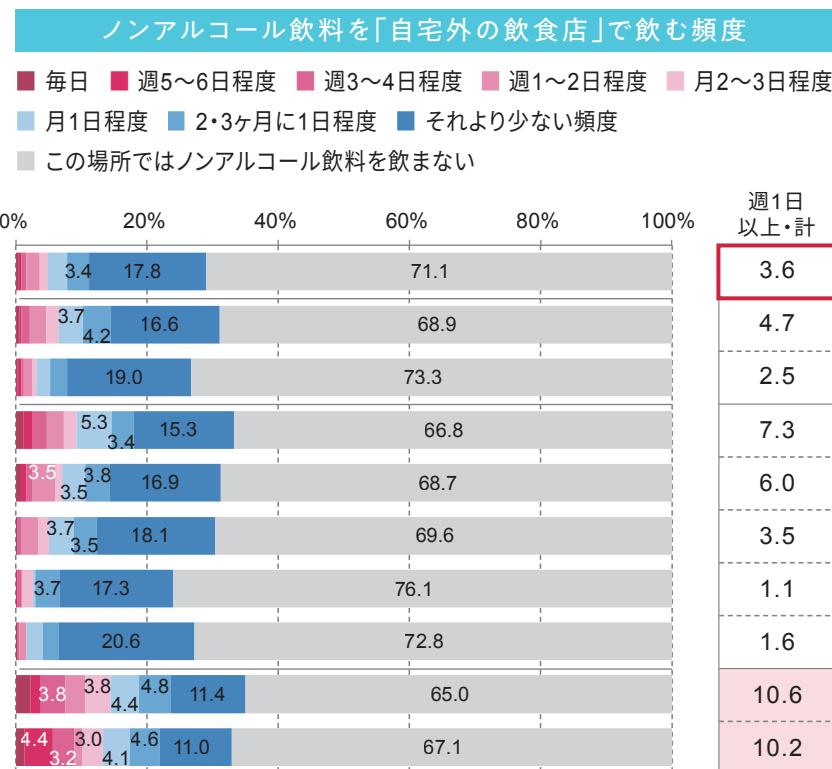
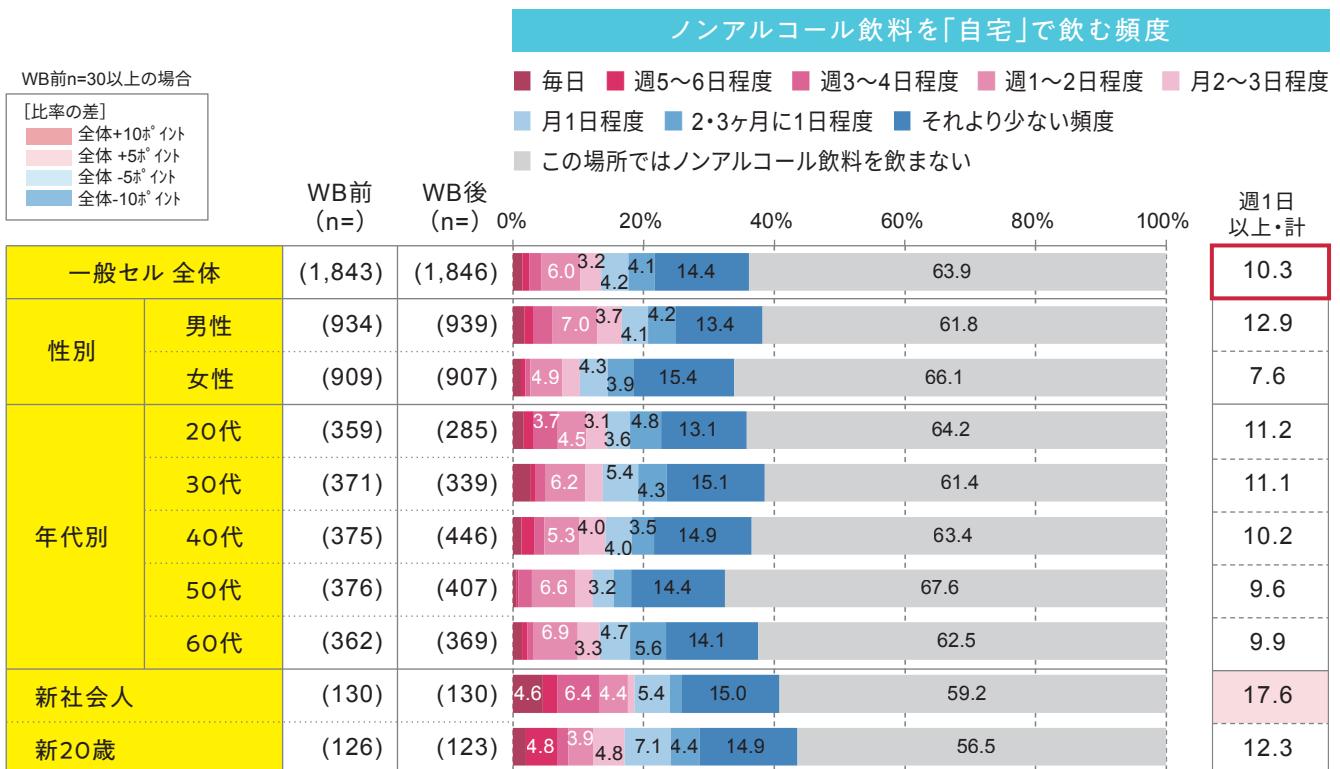
# ◆ ノンアルコール飲料 飲用頻度 家／外 ◆



自宅では10%、自宅外の飲食店では4%が週1日以上ノンアルコール飲料を飲用している。

Q.あなたは、どれくらいの頻度でお酒・ノンアルコール飲料を飲みますか。自宅と自宅外の飲食店で飲む場合のそれについてあてはまるものをひとつずつお知らせください。(SA)

※飲酒経験者ベース



# ◆ 1日当たりのお酒飲用量 家／外 ◆



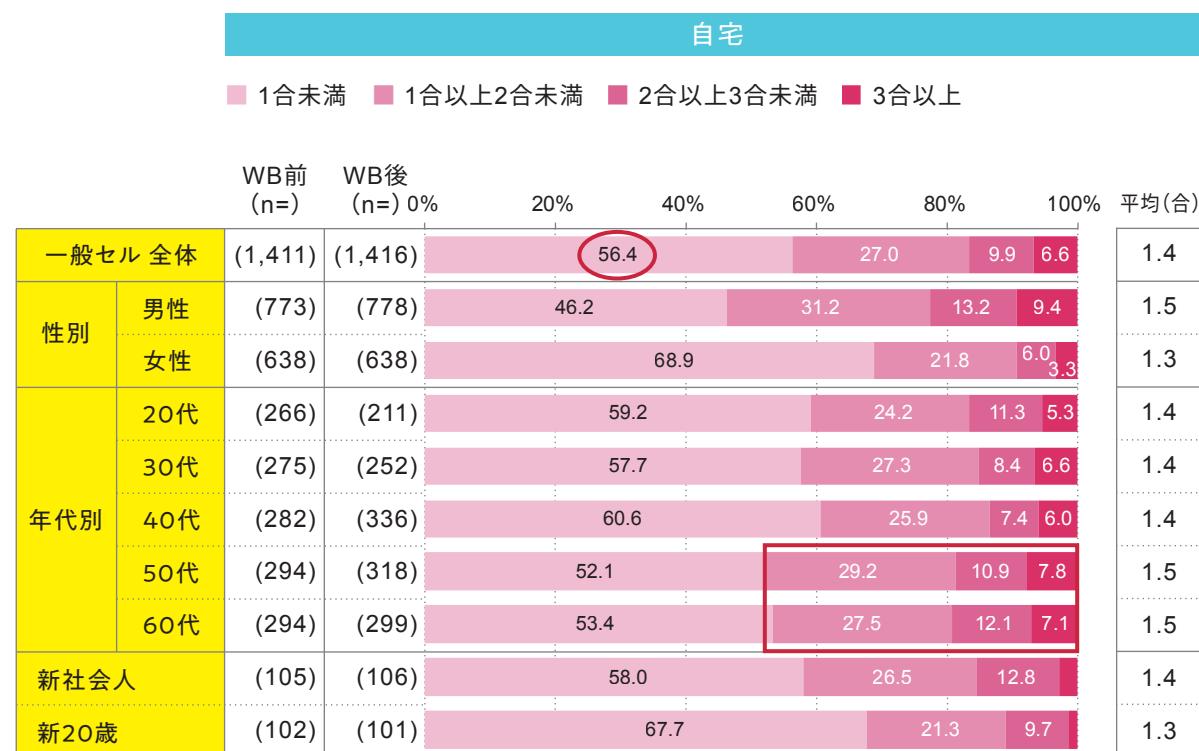
自宅では「1合未満」が56%。年代別では50代以上は1合以上の割合が他年代と比べて高い。

自宅外の飲食店では2合以上の割合が自宅の2倍以上となっており、飲酒量が増える。年代別でみると30-40代は自宅外の飲食店での飲酒量が自宅と比べて増える傾向がみられる。

Q.あなたは、普段お酒を飲むときに1回の飲酒で、どのくらいの量のお酒を飲みますか。以下のそれぞれの場合に、平均して最も近いものをひとつずつお選びください。(SA)

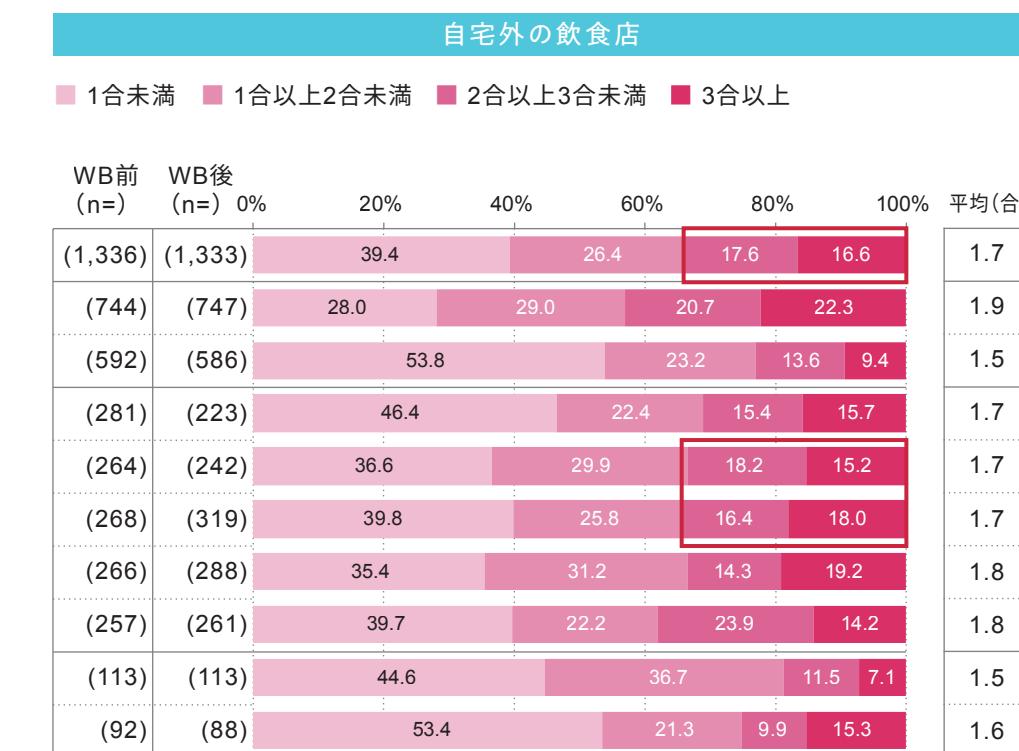
※各場所 飲酒者ベース

※1合=日本酒180ml換算



※3.0%未満のスコアは非表示

※平均(合):1合未満=1、1合以上2合未満=1.5、2合以上3合未満=2.5、3合以上=3を代入して算出



※平均(合):1合未満=1、1合以上2合未満=1.5、2合以上3合未満=2.5、3合以上=3を代入して算出

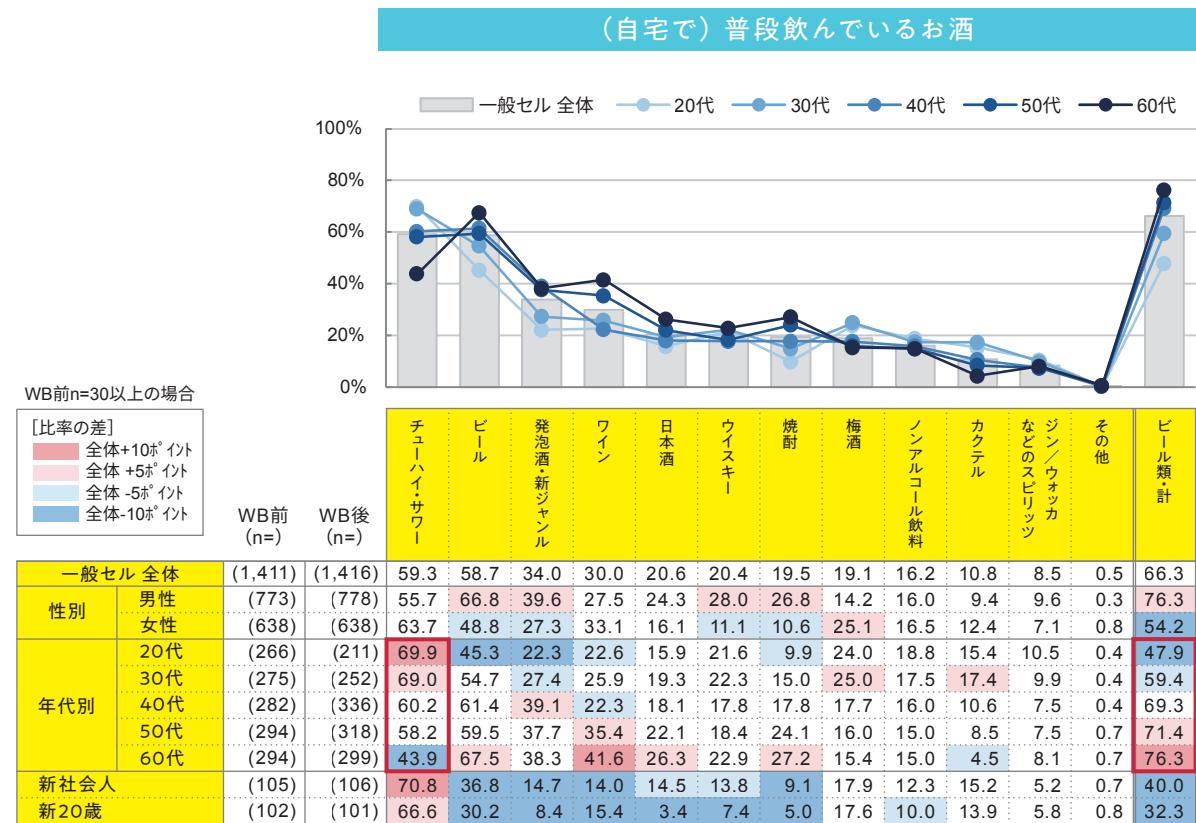
# ◆ 飲んでいる酒類 家／外 ◆



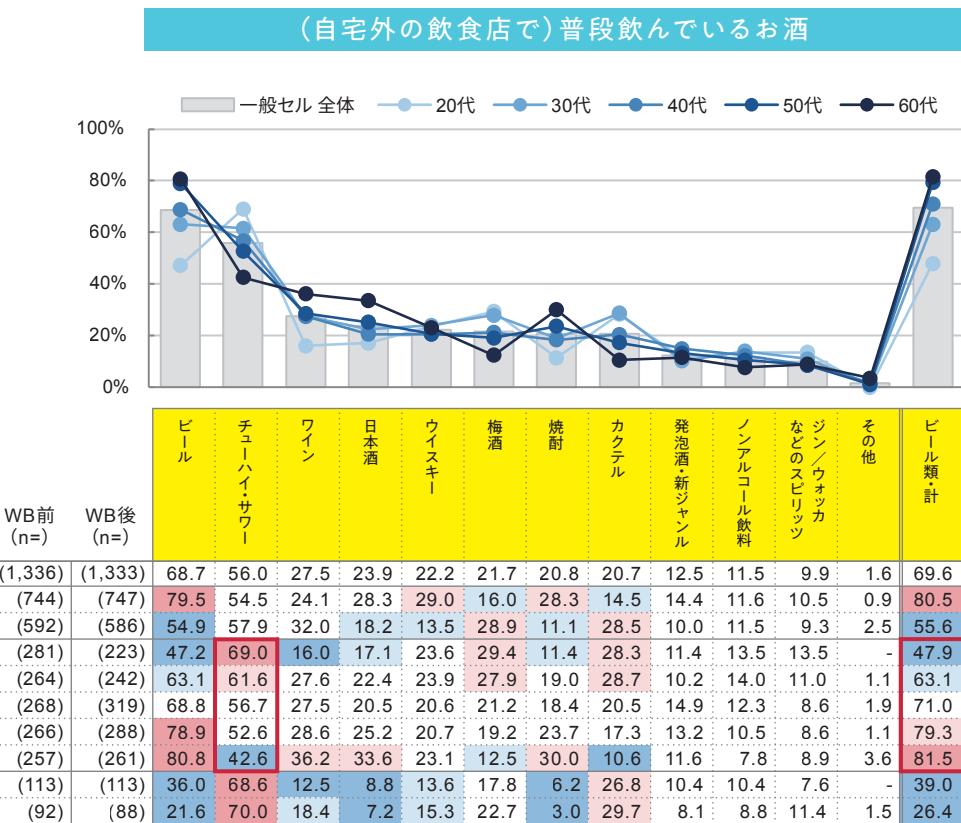
- 自宅、自宅外の飲食店いずれも「ビール類」「チューハイ・サワー」を飲んでいる割合が高く、  
30代以下は「チューハイ・サワー」、40代以上は「ビール類」を飲んでいる傾向がみられる。

Q.以下それについて、あてはまるお酒の種類をお知らせください。(MA)

※各場所 飲酒者ベース



※「一般セル 全体」のスコアで降順ソート



※「一般セル 全体」のスコアで降順ソート

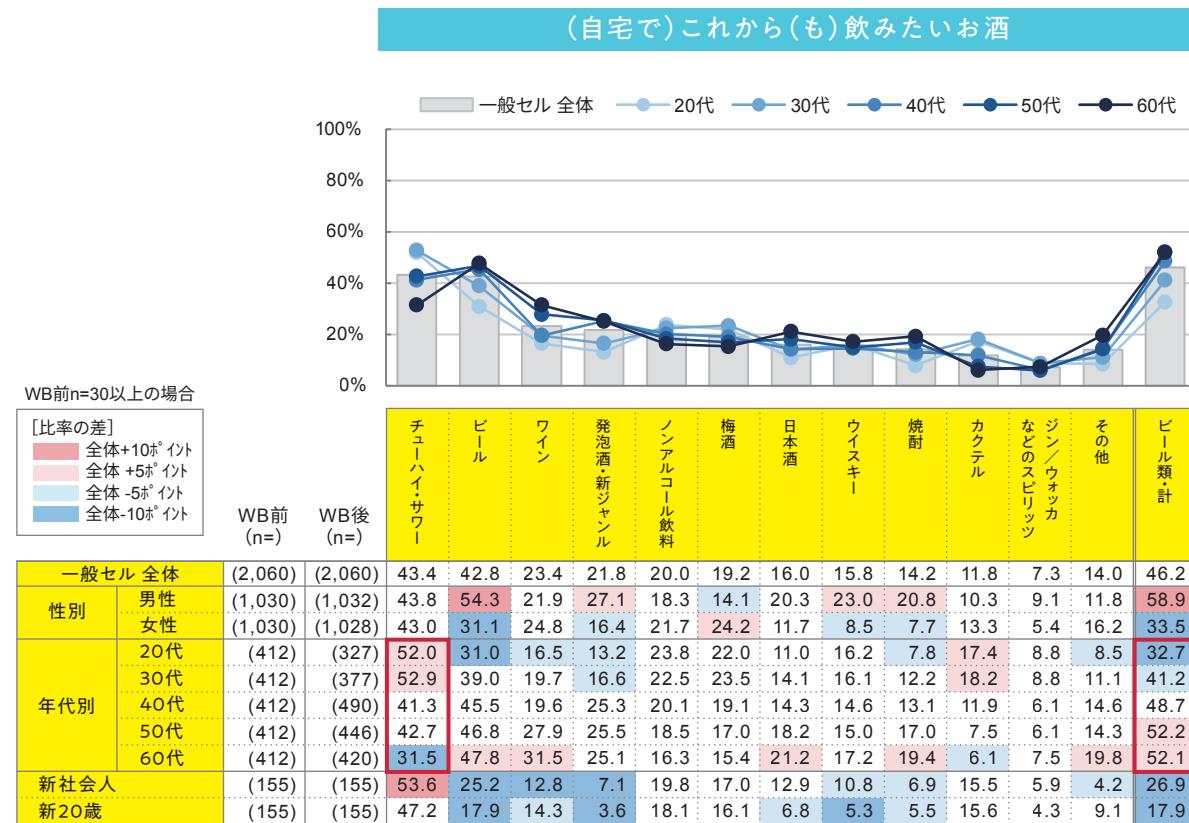
# ◆ 飲みたい酒類 家／外 ◆



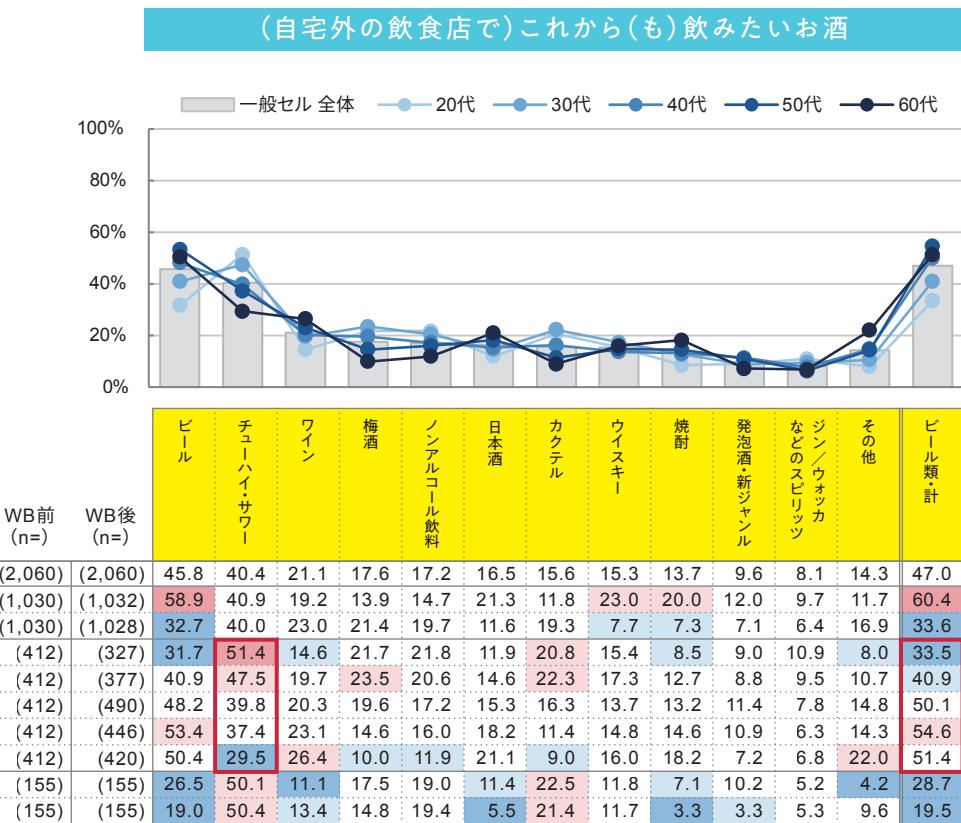
前頁同様の傾向が見られる。

Q.以下それについて、あてはまるお酒の種類をお知らせください。(MA)

※全ベース



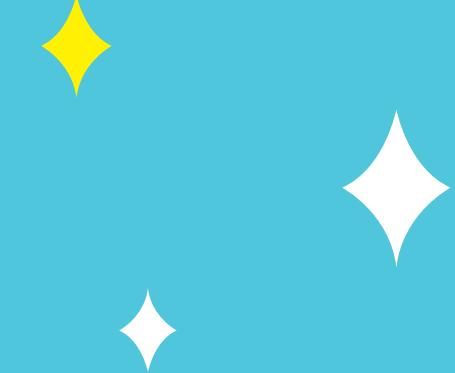
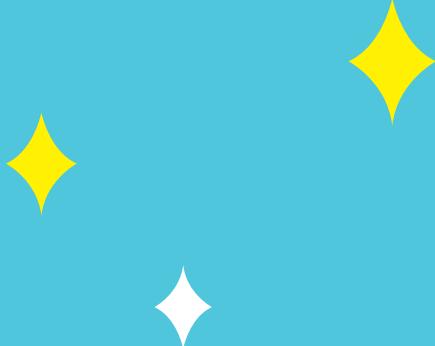
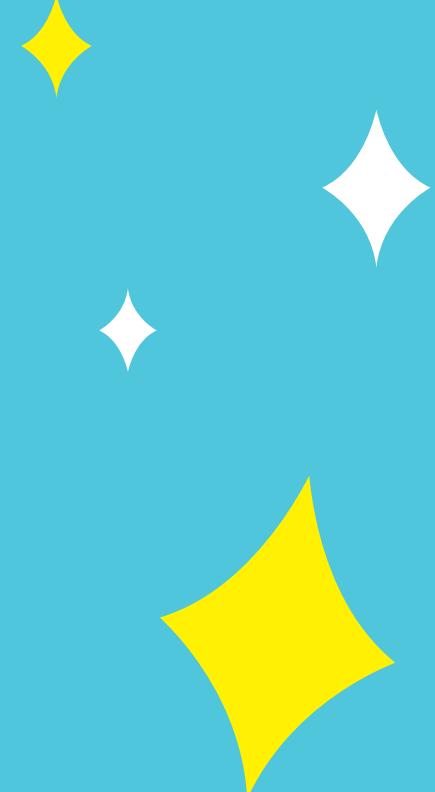
※「一般セル 全体」のスコアで降順ソート



※「一般セル 全体」のスコアで降順ソート

Theme

# お酒に対する意識

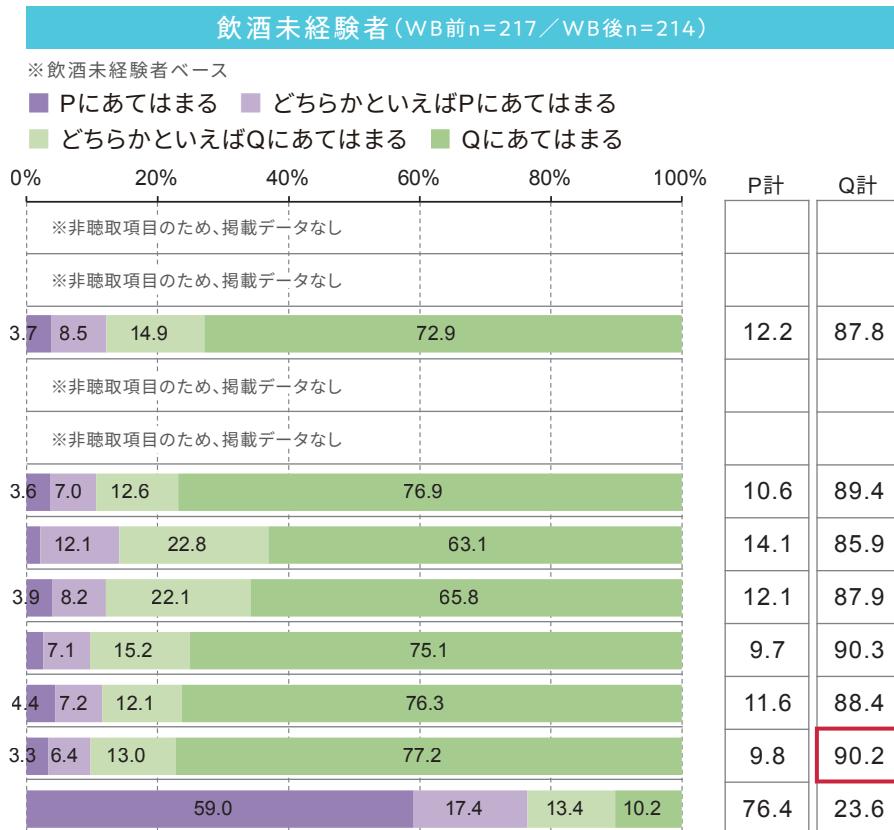
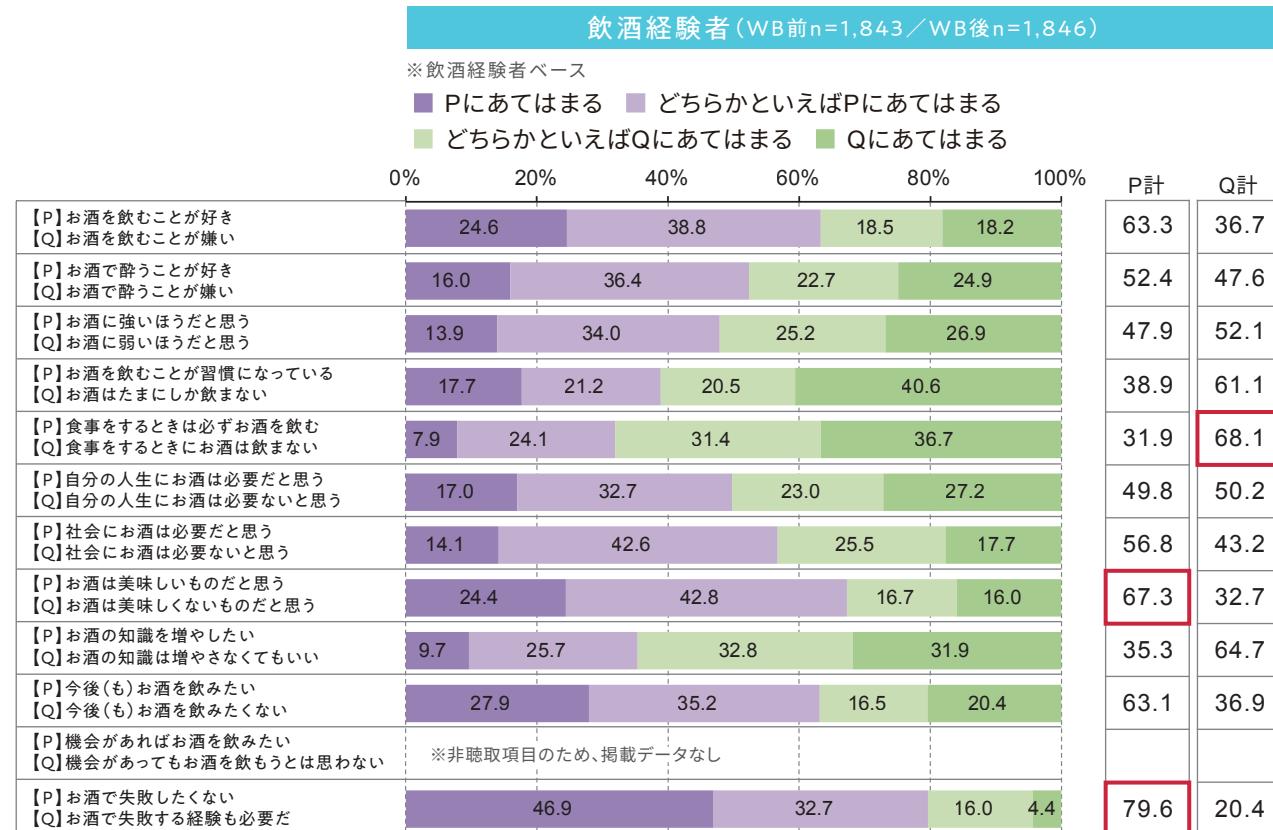


# ◆ お酒に対する意識\_全体 ◆



- 飲酒経験者の80%が「お酒で失敗したくない」という意識がある。お酒への意識が高い項目の中では「【P】お酒は美味しいものだと思う」、お酒への意識が低い項目の中では「【Q】食事をするときにお酒は飲まない」が上位にあがる。
- 飲酒未経験者では「【Q】機会があってもお酒を飲もうとは思わない」が90%と、お酒への意識は低い。

Q.お酒に関する以下の項目について、PとQのどちらの方があてはまりますか。あなたのお気持ちに最も近いものをひとつお選びください。(SA)



※3.0%未満のスコアは非表示

※P計(TOP2) :「Pにあてはまる」+「どちらかといえばPにあてはまる」

※Q計(BTM2) :「Qにあてはまる」+「どちらかといえばQにあてはまる」

※P計(TOP2) :「Pにあてはまる」+「どちらかといえばPにあてはまる」

※Q計(BTM2) :「Qにあてはまる」+「どちらかといえばQにあてはまる」

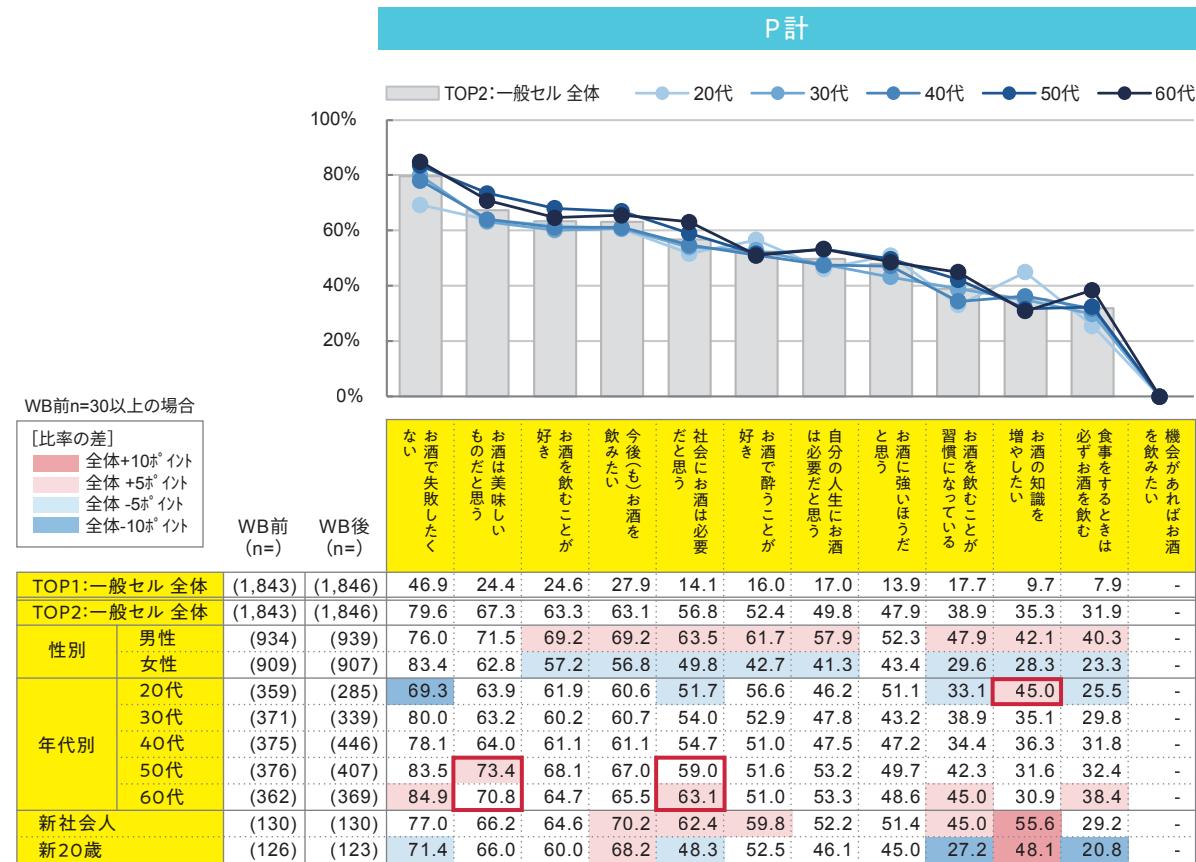
# ◆ お酒に対する意識\_詳細 ◆



- 50代以上では「【P】お酒は美味しいものだと思う」「【P】社会にお酒は必要だと思う」など、お酒への意識が高い項目のスコアが高め。
- 一方20代では「【P】お酒の知識を増やしたい」「【Q】お酒で失敗する経験も必要だ」など、お酒に関する知識や経験を増やしたい意識が高めとなっている。

Q.お酒に関する以下の項目について、PとQのどちらの方があてはまりますか。あなたのお気持ちに最も近いものをひとつお選びください。(SA)

※飲酒経験者ベース

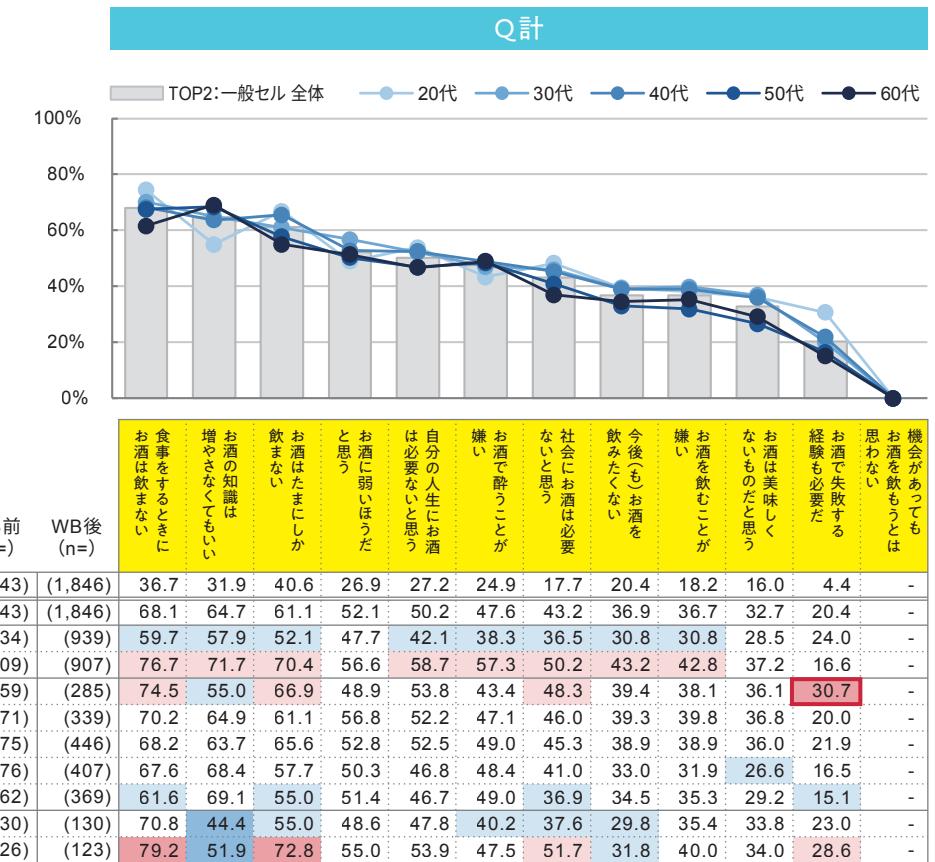


※TOP1「Pにあてはまる」、TOP2「Pにあてはまる」「どちらかといえばPにあてはまる」のスコア

※TOP2:一般セル 全体のスコアで降順ソート

※TOP1「Qにあてはまる」、TOP2「Qにあてはまる」「どちらかといえばQにあてはまる」のスコア

※TOP2:一般セル 全体のスコアで降順ソート



※TOP1「Qにあてはまる」、TOP2「Qにあてはまる」「どちらかといえばQにあてはまる」のスコア

※TOP2:一般セル 全体のスコアで降順ソート

# ◆ お酒のよかった経験FA ◆

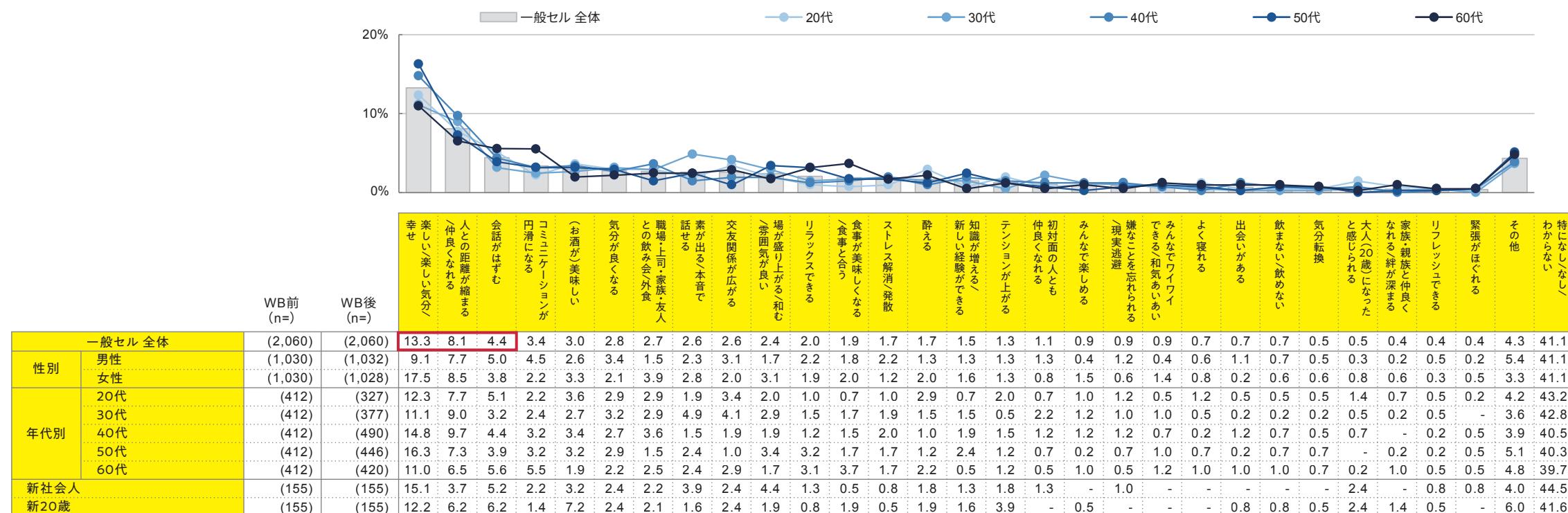


- よかった経験としては「楽しい/楽しい気分/幸せ」が最多。次いで「人との距離が縮まる/仲良くなれる」「会話がはずむ」といったコミュニケーションの面が上位にあがる。  
お酒を飲むこと自体が楽しく、お酒を通じたコミュニケーションによっても楽しい経験を重ねていることがうかがえる。

Q.お酒に関して、あなたのこれまでの人生の中で、よかった経験、残念だった経験をお知らせください。どのようなことでも構いませんので、できるだけ具体的にご記入ください。※ご自身の飲酒有無に関わらずご記入ください。(FA)

※全ベース

※自由回答を意味・意図が近しいもので分類して定量化



※「一般セル 全体」のスコアで降順ソート

# ◆ お酒の残念だった経験FA ◆



残念だった経験としては「気持ち悪くなる/体調が悪くなる」「二日酔い/翌日つらい」といった回答が特に多い。

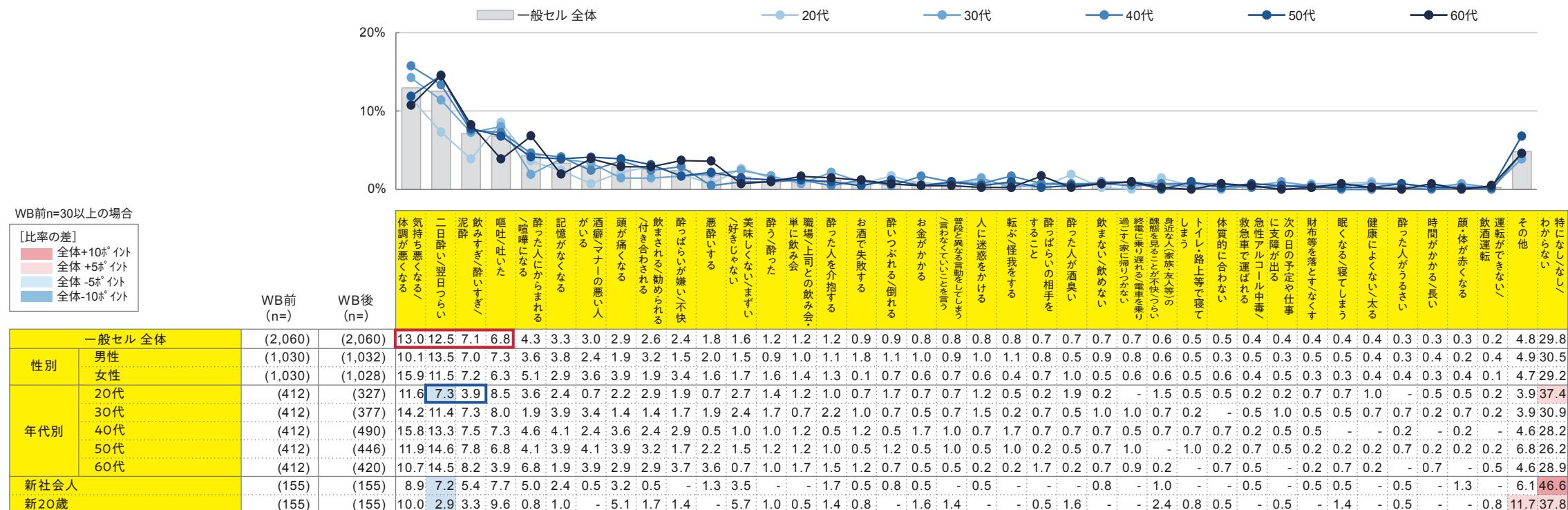
次いで「飲みすぎ/酔いすぎ/泥酔」「嘔吐/吐いた」が上位で、お酒による回答者自身の体調悪化の経験が多い。

20代では「二日酔い/翌日つらい」「飲みすぎ/酔いすぎ/泥酔」といった適量以上の飲酒による経験は少ない様子。

Q.お酒に関して、あなたのこれまでの人生の中で、よかつた経験、残念だった経験をお知らせください。どのようなことでも構いませんので、できるだけ具体的にご記入ください。※ご自身の飲酒有無に関わらずご記入ください。(FA)

※全ベース

※自由回答を意味・意図が近しいもので分類して定量化



※「一般セル 全体」のスコアで降順ソート

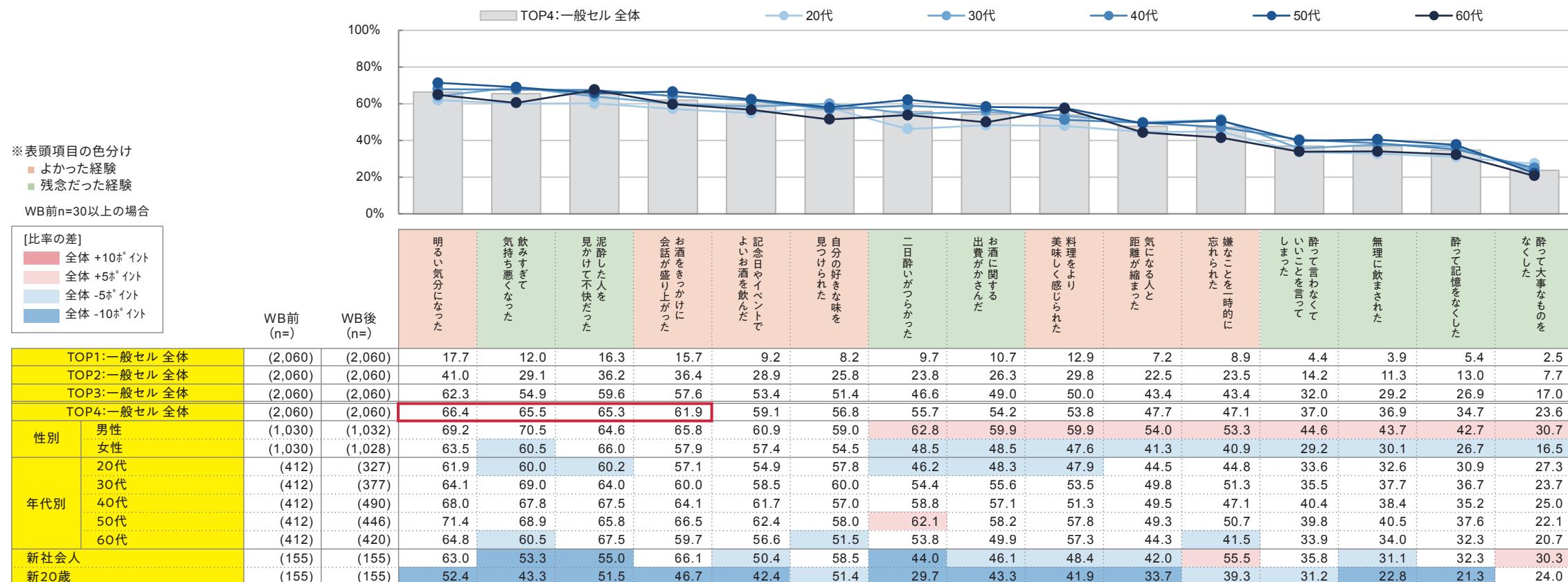
# ◆ お酒のよかった経験 お酒の残念だった経験SA ◆



- 全体ではよかった経験は「明るい気分になった」「お酒をきっかけに会話が盛り上がった」、残念だった経験は「飲みすぎて気持ち悪くなった」「泥酔した人を見かけて不快だった」が上位にあがる。

Q.以下のお酒に関する経験について、この直近の1年間で何回ほど経験しましたか。それぞれの項目について、最も近いものをひとつずつお知らせください。(SA)

※全ベース



※TOP1「何回もあった」、TOP2「何回もあった」+「何回もあった」、TOP3「何回もあった」+「何回もあった」+「数回あった」、TOP4「何回もあった」+「何回もあった」+「数回あった」+「一度だけあった」のスコア

※「TOP4:一般セル 全体」のスコアで降順ソート

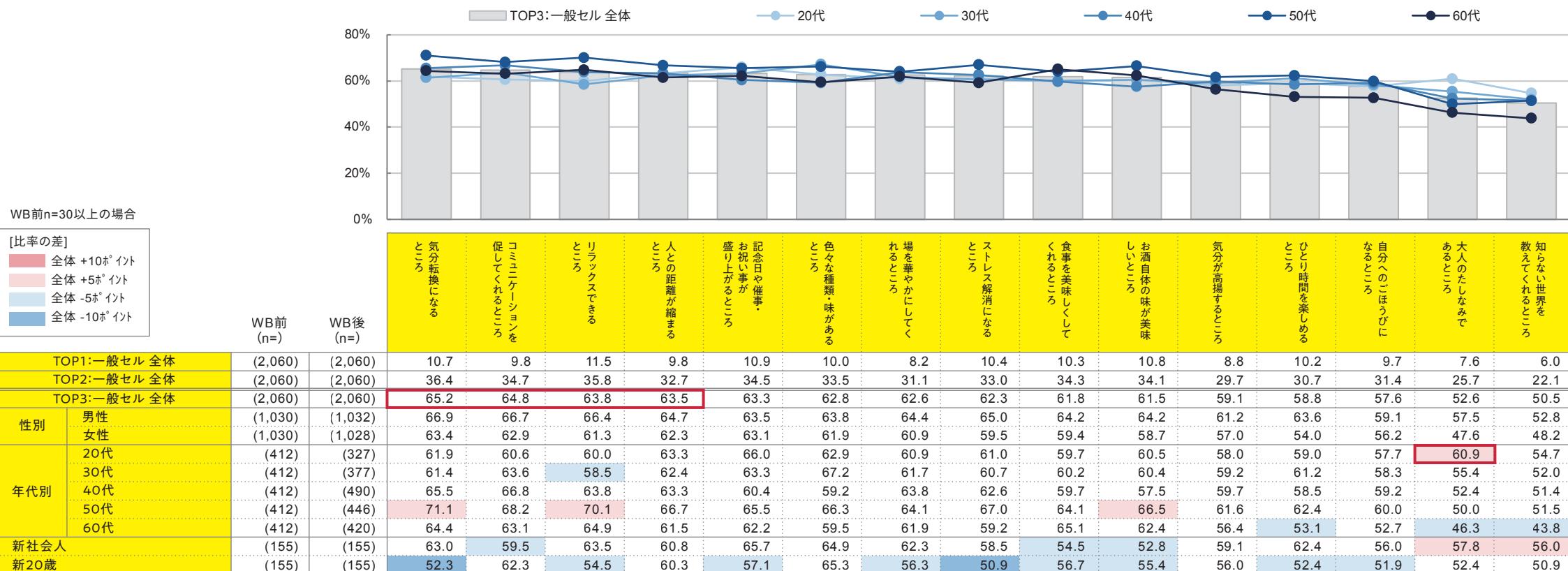
# ◆ お酒の魅力 ◆



- 全体では「気分転換」「リラックス」といった気分の面や、「コミュニケーションを促してくれる」「人との距離が縮まる」といった人のコミュニケーションの面でお酒の魅力を感じている。
- 20代は「大人のたしなみであるところ」が他年代と比べて高く、お酒=大人なイメージを持っている。

Q.お酒に関する以下の項目について、どの程度魅力に感じますか。(SA)

※全ベース



※TOP1「非常に魅力的に感じる」、TOP2「非常に魅力的に感じる」+「魅力的に感じる」、TOP3「非常に魅力的に感じる」+「魅力的に感じる」+「やや魅力的に感じる」のスコア

※「TOP3:一般セル 全体」のスコアで降順ソート

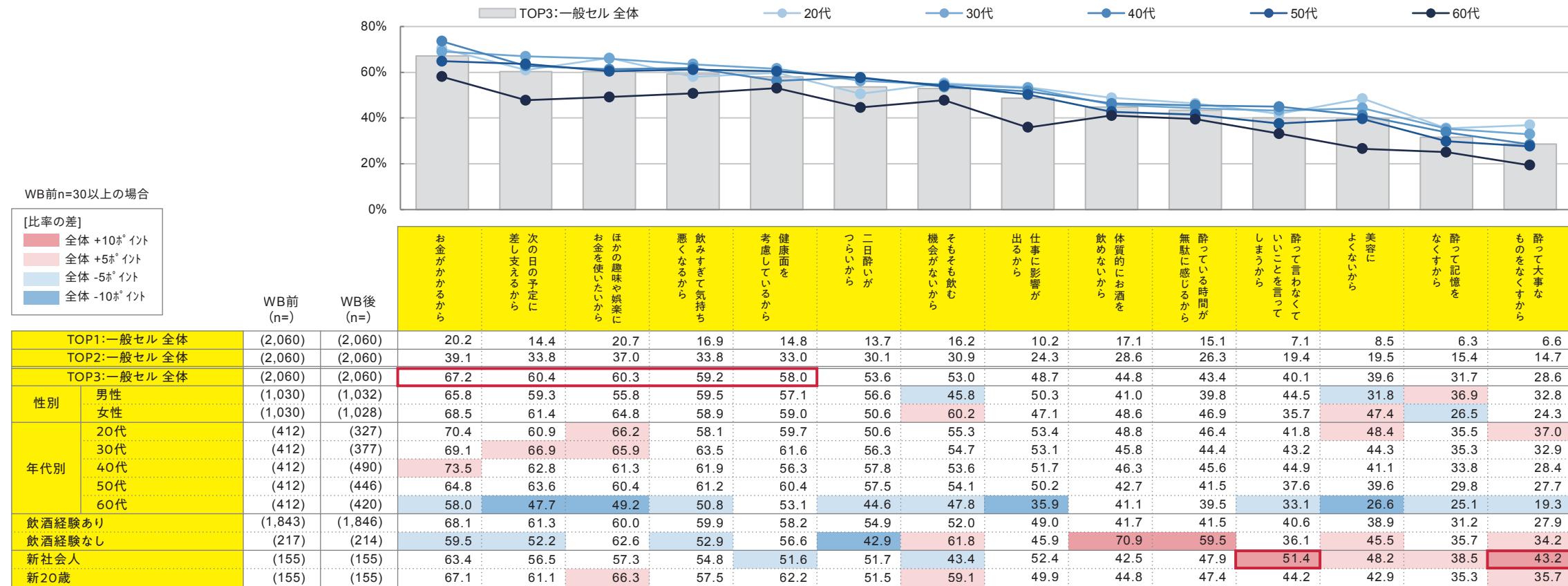
# ◆ お酒が嫌い・飲まない理由 ◆



- 全体では「お金がかかる」「ほかの趣味や娯楽にお金を使いたい」といった金銭面が高いハードルになっている。  
「次の日の予定に差し支える」「飲みすぎて気持ち悪くなる」「健康面を考慮している」といった体への影響面が理由として上位にあがる。
- 新社会人では「酔って言わなくていいことを言ってしまう」「大事なものをなくす」といった理由が全体と比べて高い。

Q.あなたがお酒を嫌いな理由、お酒を飲まない理由として以下の項目はどの程度あてはまりますか。それぞれの項目について、あなたのお気持ちに最もあてはまるものをそれぞれひとつお選びください。(SA)

※全ベース



※TOP1「とてもあてはまる」、TOP2「とてもあてはまる」+「あてはまる」、TOP3「とてもあてはまる」+「あてはまる」+「ややあてはまる」のスコア

※「TOP3:一般セル 全体」のスコアで降順ソート

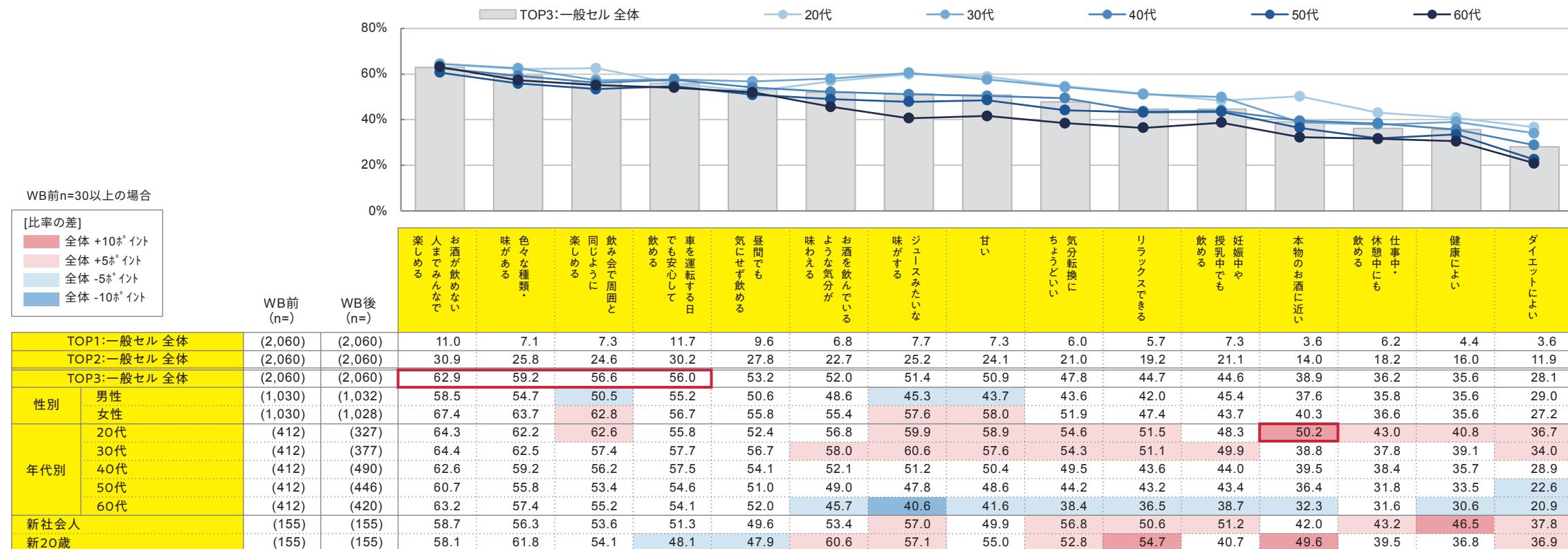
# ◆ ノンアルコール飲料に対するイメージ ◆



- 全体では「お酒が飲めない人までみんなで楽しめる」「飲み会で周囲と同じように楽しめる」といった飲み会の場面で楽しめるイメージや、「色々な種類・味がある」「車を運転する日でも安心して飲める」といったイメージが上位にあがる。
- 20代では50%が「本物のお酒に近い」と回答しており、他年代と比べて高い。

Q.あなたは、ノンアルコール飲料にどのようなイメージをお持ちですか。(SA)

※全ベース

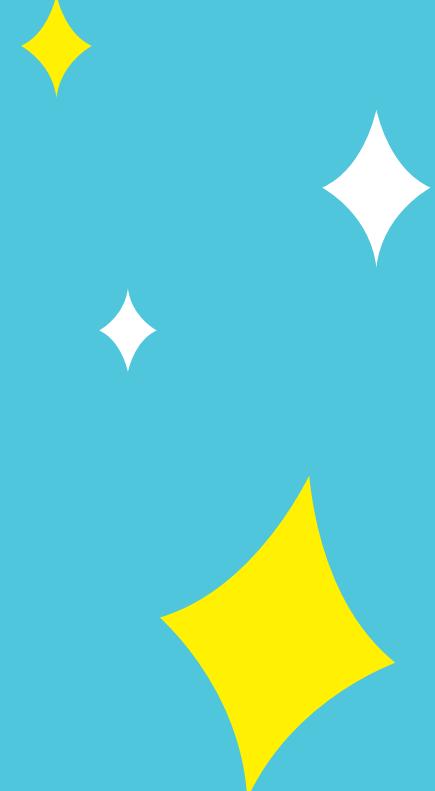


※TOP1「とてもあてはある」、TOP2「とてもあてはある」「あてはある」、TOP3「とてもあてはある」「あてはある」「ややあてはある」のスコア

※「TOP3:一般セル 全体」のスコアで降順ソート

Theme

# 飲み会の実態



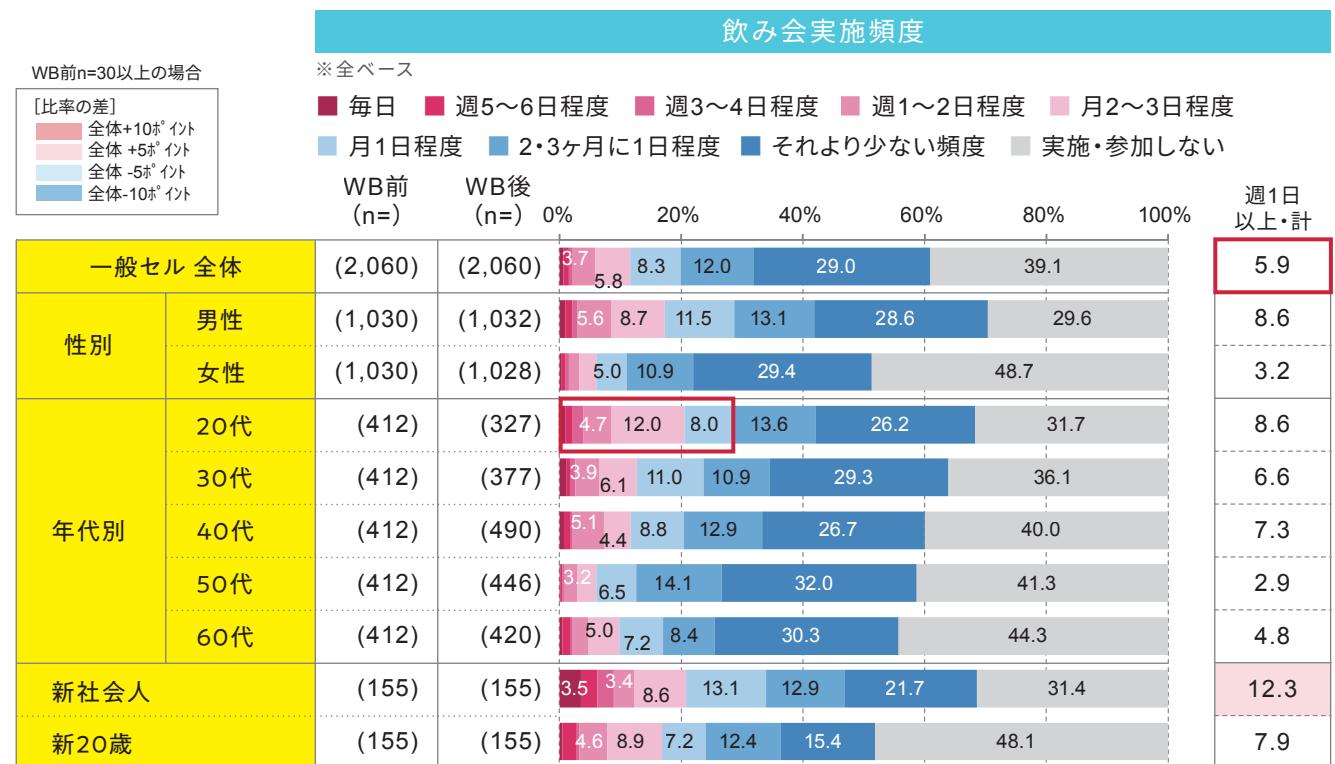
# ◆ 飲み会実施頻度／飲用量 ◆



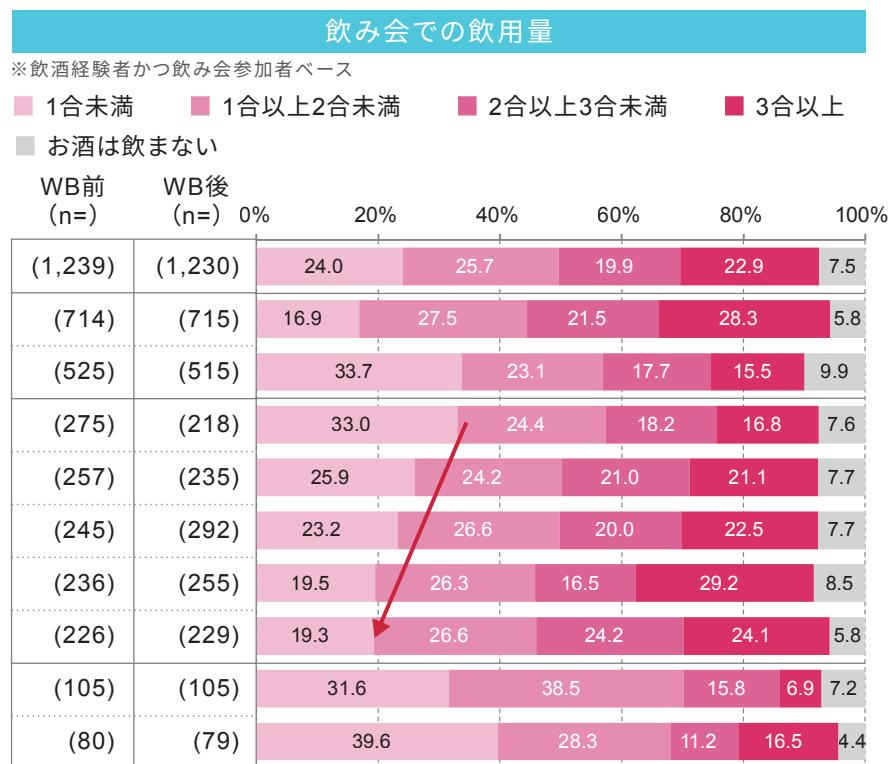
- 飲み会実施頻度は全体では週1日以上実施が6%。月1日以上でみると、20代が他年代と比べて実施している割合が高い。
- 飲み会での飲用量は、年代が上がるほど増える傾向にある。

Q.あなたは、どれくらいの頻度で飲み会を実施・参加しますか。(SA)

Q.あなたは、飲み会でどれくらいの量のお酒を飲みますか。(SA)



※3.0%未満のスコアは非表示 ※週1日以上・計(TOP4)：「毎日」+～+「週1～2日程度」



※1合＝日本酒180ml換算

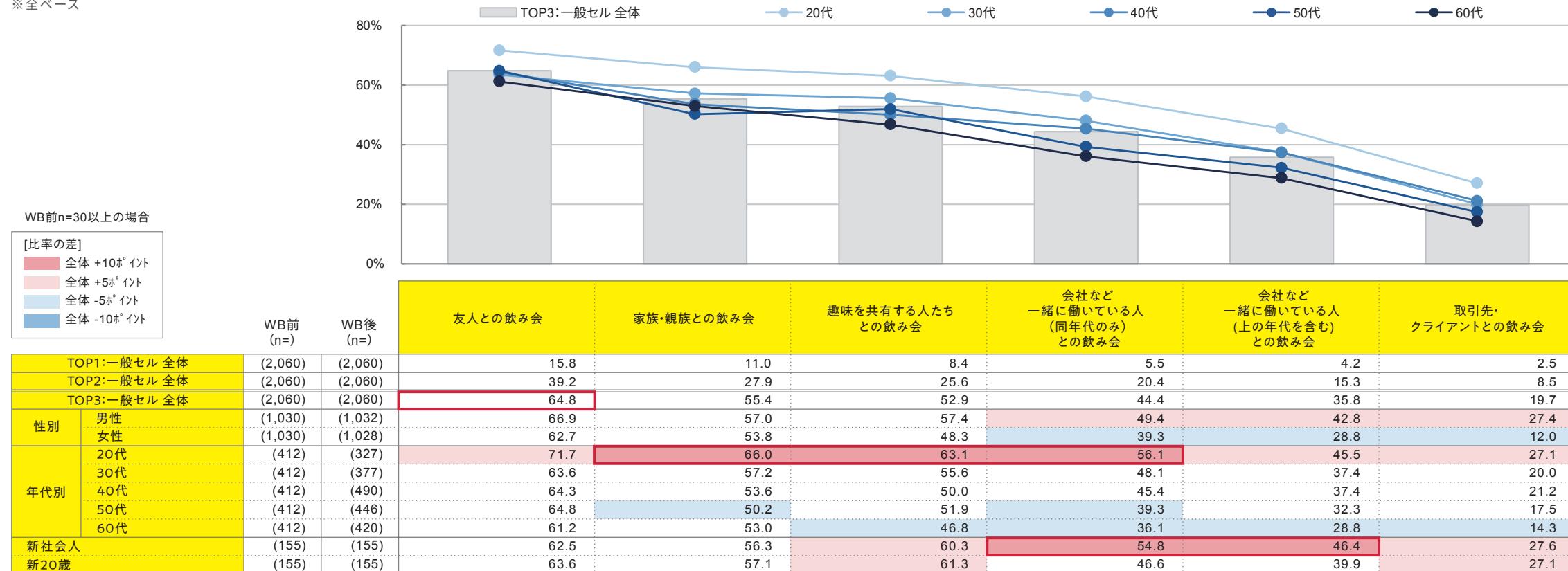
# ◆ 飲み会への好意度 ◆



- 全体では「友人との飲み会」が65%で上位にあがる。20代では「家族・親族との飲み会」「趣味を共有する人たちとの飲み会」「会社など一緒に働いている人(同年代のみ)との飲み会」への好意度が他年代と比べて高い。
- 新社会人でも「会社など一緒に働いている人との飲み会」に関しては同年代のみだけでなく、上の年代を含む場合でも好意度が全体と比べて高い。新社会人の半数程度は“会社の飲み会”にも好意的。

Q.あなたは、以下の人の飲み会に参加することがどの程度好きですか。あなたのお気持ちに最もあてはまるものを、それぞれひとつお知らせください。(SA)

※全ベース



※TOP1「とても好き」、TOP2「とても好き」+「好き」、TOP3「とても好き」+「好き」+「やや好き」のスコア

※「TOP3:一般セル 全体」のスコアで降順ソート

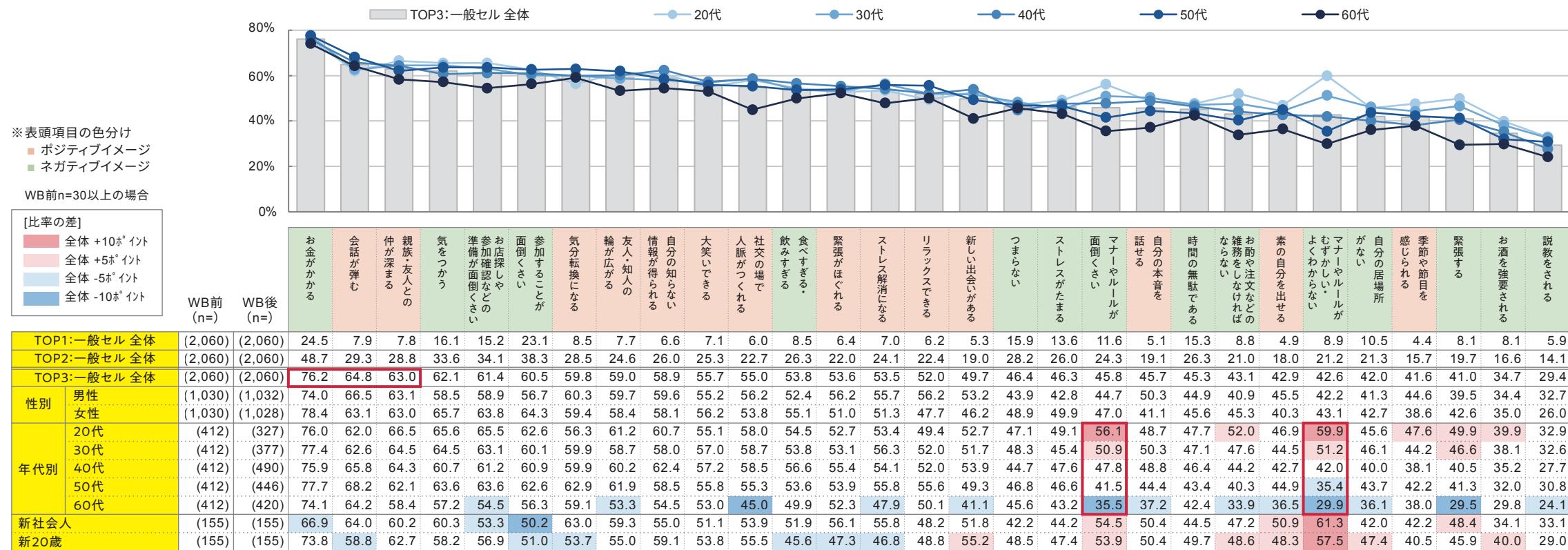
# ◆ 飲み会に対するイメージ ◆



- 全体では「お金がかかる」といったネガティブイメージや、「会話が弾む」「親族・友人との仲が深まる」といったポジティブイメージが上位にあがる。
- 年代が下がるほど「マナーやルール」に関して“面倒・むずかしい・よくわからない”と感じている。

Q.あなたは、飲み会にどのようなイメージをお持ちですか。(SA)

※全ベース



※TOP1「とてもあてはある」、TOP2「とてもあてはある」+「あてはある」、TOP3「とてもあてはある」+「あてはある」+「ややあてはある」のスコア

※TOP3:一般セル 全体」のスコアで降順ソート

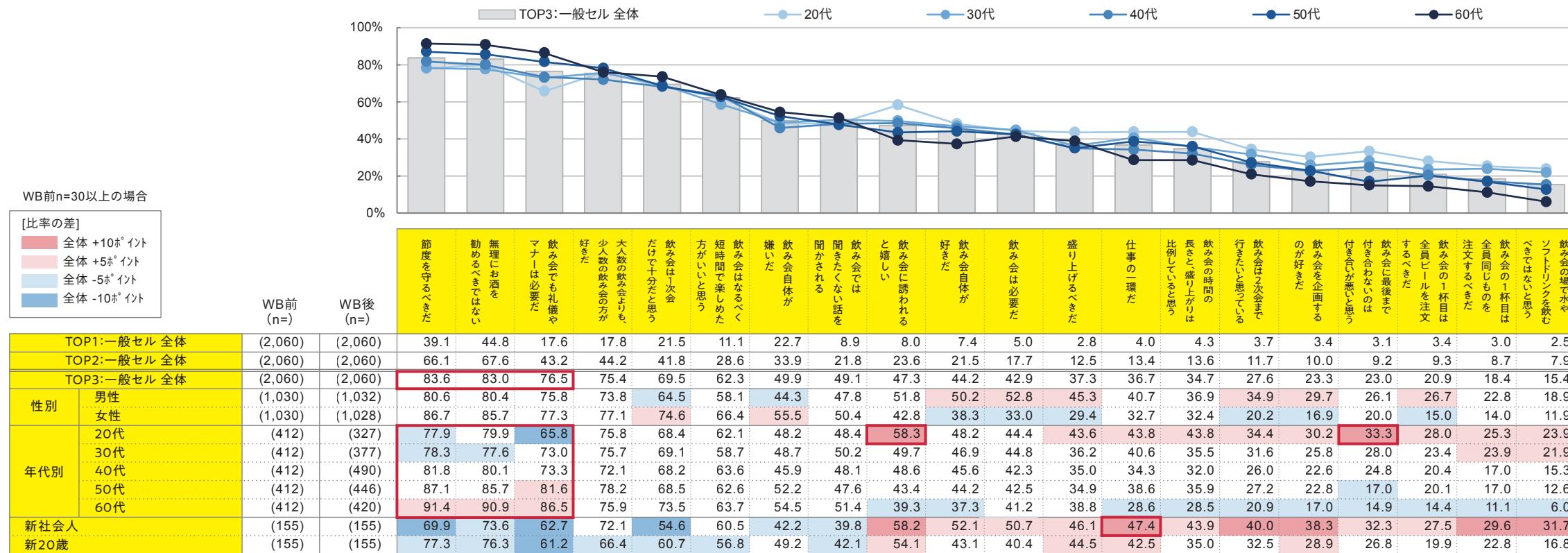
# ◆ 飲み会に対する考え方 ◆



- 「節度を守るべきだ」「無理にお酒を勧めるべきではない」「飲み会でも礼儀やマナーは必要だ」が上位にあがり、年代が高い方がより意識が高い傾向がみられる。
- 20代では「飲み会に誘われると嬉しい」「飲み会に最後まで付き合わないのは付き合いが悪いと思う」が他年代と比べて高く、仲間意識や同調圧力が高い可能性も考えられる。新社会人では47%が「仕事の一環」ととらえている。

Q.飲み会に関する以下の考え方について、お気持ちにどの程度あてはまりますか。(SA)

※全ベース



※TOP1「とてもあてはまる」、TOP2「とてもあてはまる」「あてはまる」、TOP3「とてもあてはまる」「あてはまる」「ややあてはまる」のスコア

※「TOP3:一般セル 全体」のスコアで降順ソート

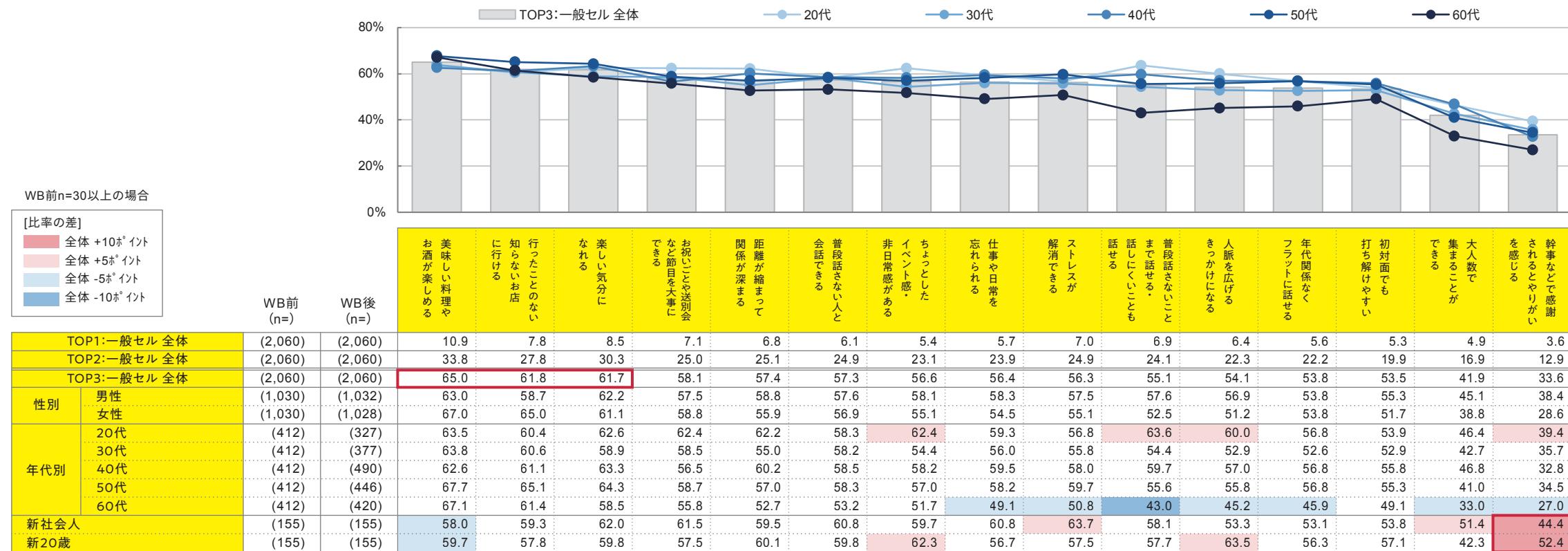
# ◆ 飲み会の魅力 ◆



- 全体では「美味しい料理やお酒が楽しめる」「行ったことのない知らないお店に行く」「楽しい気分になれる」などメニューやお店自体、気分への影響などに魅力を感じている。
- 新社会人や新20歳では「幹事などで感謝されるとやりがいを感じる」魅力が全体と比べて高い。

Q.飲み会に関する以下の項目について、どの程度魅力に感じますか。(SA)

※全ベース



※TOP1「非常に魅力的に感じる」、TOP2「とても魅力的に感じる」+「魅力的に感じる」、TOP3「非常に魅力的に感じる」+「魅力的に感じる」+「やや魅力的に感じる」のスコア

※TOP3:一般セル 全体のスコアで降順ソート

# ◆ 飲み会に対する不安 ◆

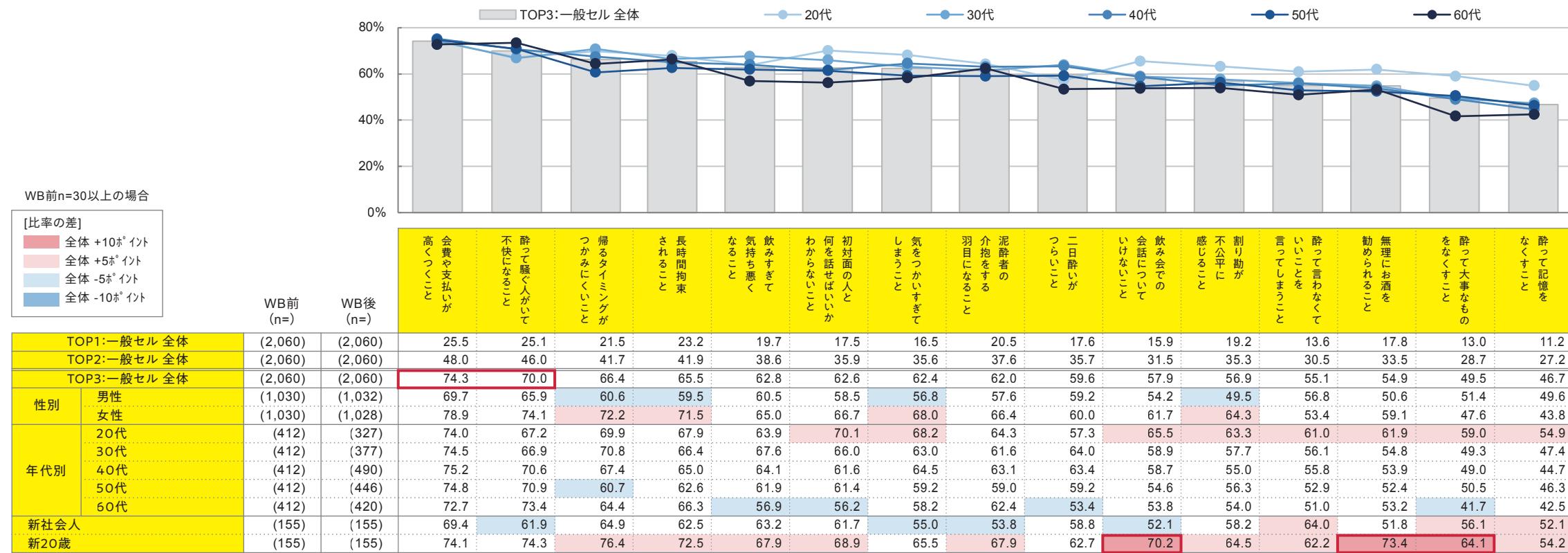


- 全体では「会費や支払いが高くつくこと」「酔って騒ぐ人がいて不快になること」といった金銭面や酔った人への不安度が高い。

新20歳では「飲み会での会話についていけないこと」「無理にお酒を勧められること」といった飲み会でのコミュニケーションや、「酔って大事なものをなくすこと」などへの不安度が全体と比べて高い。

Q.飲み会に関して、どの点が不安と感じますか。それについてあてはまるものをお答えください。(SA)

※全ベース



※TOP1「とても不安」、TOP2「とても不安」+「不安」、TOP3「とても不安」+「不安」+「やや不安」のスコア

※「TOP3:一般セル 全体」のスコアで降順ソート

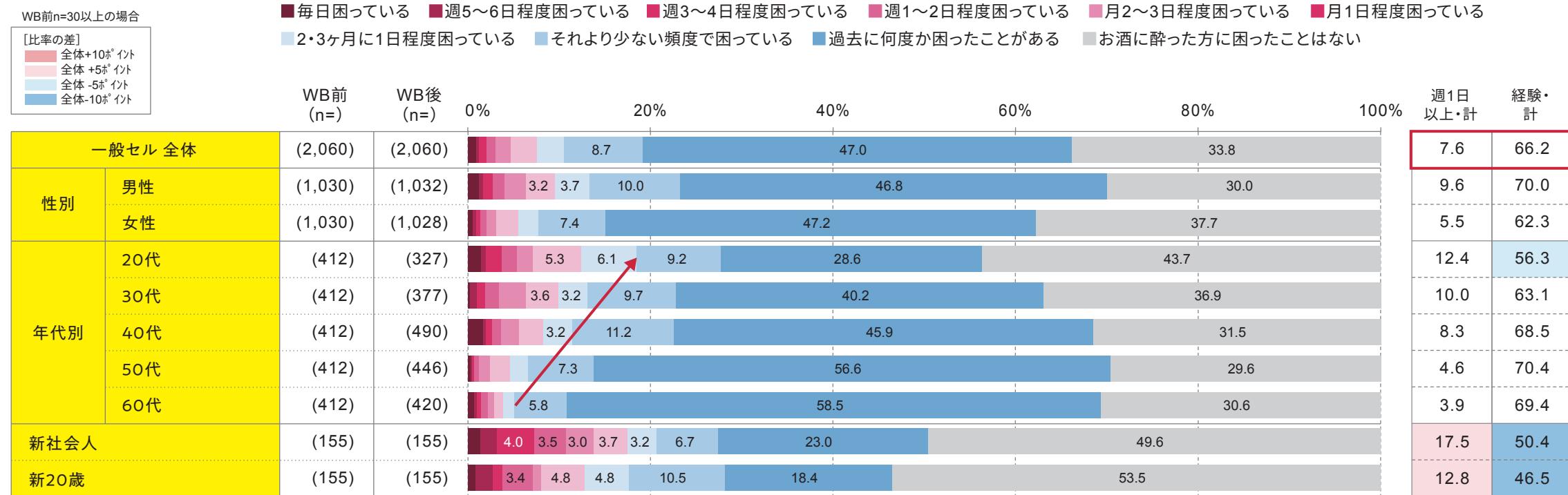
# ◆ 泥酔者に困った経験頻度 ◆



全体では経験あり66%／週1日以上が8%。年代が下がるほど頻度が上がる傾向がみられる。

Q.あなたは、仕事中・外出先などで、「お酒に酔った方」に困ったことはありますか。困ったことがある方はどれくらいの頻度で発生するかお知らせください。(SA)

※全ベース



# ◆ 泥酔者に困った経験 ◆



全体では「(飲み会の席で／知らない人に)からまれる」「嘔吐」「介抱」「起きない」などの困った経験があがる。

Q.前問で「お酒に酔った方」に困ったことがある方にうかがいます。「お酒に酔った方」で困ったことについて、どのようなことでも構いませんので具体的にご記入ください。(OA)

※「お酒に酔った方」に困ったことがある回答者ベース

## からまれる

うざ絡み、お酒の強要、次の日には忘れてる(女性28歳)

自分勝手な行動をし、関係ない他の人に絡んだり、迷惑をかけそうになって慌てて制止しなければならなかったこと(男性68歳)

泥酔した同僚にしつこくからまれて、暴力を振るわれたことがある(男性68歳)

しつこく同じ話をして絡まれて不快だった(女性35歳)

お酒を飲むと説教癖がある人で他人に絡んで怪我をさせ、巻き添えになった(女性56歳)

ナンパされる(女性20歳)

酔った知らないおじさんに、話しかけられた(男性26歳)

普段と違う話し方で絡んでくる(女性39歳)

## 吐く・嘔吐

トイレで嘔吐してお店に迷惑をかけた方がいた(女性49歳)

トイレで吐いてしまった人がいて、トイレから出てこず、トイレを利用できなかった(女性30歳)

飲み会から一緒に電車で帰る際に吐き戻された(女性61歳)

公共の場で嘔吐するのが困る(男性36歳)

酔ったまま眠ってしまい、眠ったまま吐いている人の面倒をみたこと(男性61歳)

電車や道で嘔吐して、服や所持品が嘔吐物まみれになり、後処理が大変なこと(女性21歳)

連れが飲み過ぎて吐いてしまったこと(女性36歳)

## 介抱が大変

飲みすぎて歩けなくなった人を介抱したこと(男性66歳)

ずっとトイレで付き添わなければいけなかった(男性59歳)

介抱するのが大変で、家に帰るまでが心配になる(男性41歳)

後輩で飲み過ぎて切符をなくしたりフラフラして危なかったり、面倒だった(男性58歳)

普段一緒に飲む仲ではない方で、酔っ払って介抱しなければならず、困りました(男性27歳)

## 寝る/起きない

酔いすぎて動けなくなり、その場で寝てしまった(男性58歳)

お酒を飲まないので、車を出したことがあったが、泥酔して爆睡している人が家についても起きてくれなかった(女性39歳)

泥酔して寝てしまった相手を置いて帰れない(男性53歳)

電車の座席で寝ている人を見たこと(女性33歳)

爆睡してなかなか起きないこと(男性44歳)

## その他

友人が酔っぱらって記憶をなくし、私に対して「お前誰だ?」とヘッドロックされたこと(男性46歳)

何を話しているかわからない会話に付き合わされた(女性58歳)

騒ぎすぎて雰囲気についていけない(男性61歳)

出張先の飲み会にて、後輩が酔いつぶれて打合せに遅ってきたとき(男性43歳)